

日	月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
二十三日														
二十四日														
二十五日														
二十六日														
二十七日														
二十八日														
二十九日														
三十日														
三十一日														
計														

第二節 犯則處分

鹽專賣法ノ違反ニ關スル罰則ハ特ニ定メタル財政罰ニシテ專賣法又ハ同法ニ依リ發スル命令ニ依ルノ外刑法第八條ニ依リ刑法總則ノ適用ヲ受クヘキモノトス尤モ鹽專賣法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用井サルコトト爲シタリ又鹽製造者鹽賣捌人カ未成年者其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ヲ除ク又ハ禁治產者ナルトキハ鹽專賣法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ノ規程ニ依リ營業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用スルコトトシ鹽製造者又ハ鹽賣捌人ハ其ノ代理人、戶主、家族同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ鹽專賣法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得ストシ其ノ責任ヲ

業務主ニ負ハシタリ而シテ專賣法ノ處罰ハ財政上ノ目的ニ出テタル行政罰ナルカ故ニ之カ處分ハ通告處分ニ依ル即チ鹽專賣法第三十八條ニ於テ間接國稅ニ關スル犯則者處分法規ヲ準用シ專賣官吏ノ處分ニ委セシメタリ

法律第六十七號(明治三十三年三月十六日)

間接國稅犯則者處分法

第一條 間接國稅ニ關スル犯則アルトキハ收稅官吏ハ犯則事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類等ノ差押ヲ爲スコトヲ得

第二條 收稅官吏ハ犯則事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類等ヲ藏匿スト認ムル場所ニ臨檢シ搜索ヲ爲スコトヲ得

第三條 收稅官吏ハ犯則事件ヲ調査スル爲必要ト認ムルトキハ犯則嫌疑者、參考人ヲ尋問スルコトヲ得

第四條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲ストキハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ

第五條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スニ當リ必要ナルトキハ警察官吏ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

第六條 收稅官吏搜索ヲ爲ストキハ搜索スヘキ家宅、倉庫、船車其ノ他ノ場所ノ所有主、借主、管理者、事務員又ハ同居ノ親族、雇人、鄰佑ニシテ成年ニ達シタル者ヲシテ立會ハシムヘシ

前項ニ掲グル者其ノ地ニ在ラサルトキ又ハ立會ヲ拒ミタルトキハ其ノ地ノ警察官吏又ハ市町村吏員ヲシテ立會ハシムヘシ

第七條 收稅官吏犯則事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタルトキハ其ノ差押目録ヲ作ルヘシ但シ所有者ハ其ノ差押目録ヲ謄本ヲ請求スルコトヲ得

差押物件ハ便宜ニ依リ保管證ヲ徴シ所有者又ハ市町村ヲシテ保管セシムルコトヲ得差押物件ノ保管證ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス

差押物件腐敗其ノ他損傷ノ虞アルトキハ稅務署長ハ之ヲ公賣ニ付シ其ノ代金ヲ供託スルコトヲ得

第八條 收稅官吏ハ日没ヨリ日出マテノ間臨檢又ハ搜索差押ヲ爲スコトヲ得但シ現行犯ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲ス間ハ何人ニ限ラス許可ヲ得シテ其ノ場所ニ出入スルヲ禁スルコトヲ得

第十條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲シタルトキハ其ノ顛末ヲ記載シ立會人又ハ尋問ヲ受ケタル者ニ示シ共ニ署名捺印スヘシ立會人又ハ尋問ヲ受ケタル者署名捺印セス又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第十一條 犯則事件ノ證據集取ハ事件發見ヲ所轄スル稅務監督局又ハ稅務署ノ收稅官吏之ヲ爲ス

稅務監督局收稅官吏ノ集取シタル證據ハ之ヲ所轄稅務署收稅官吏ニ引繼クヘシ

同一犯則事件ニ付數箇所ニ於テ發見セラレタル時ハ各發見地ニ於テ集取セラレタル證據ハ之ヲ最初ノ發見地所轄稅務署ノ收稅官吏ニ引繼クヘシ

第十二條 收稅官吏前各條ニ依リ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スハ其ノ所屬稅務監督局又ハ所屬稅務署ノ管轄區域内ニ限ル但シ既ニ著手シタル犯則事件ニ關聯シ他ノ稅務監督局又ハ稅務署ノ管轄區域ニ於テ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲スヲ必要トスルトキハ此ノ限ニ在ラス

稅務署長ハ其ノ管轄區域外ニ於テ犯則事件ヲ調査ヲ必要トスルトキハ其ノ地ノ稅務署長ニ囑託スルコトヲ得

第十三條 收稅官吏犯則事件ノ調査ヲ終リタルトキハ之ヲ稅務署長ニ報告スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ直ニ告發スヘシ

一 犯則嫌疑者ノ居所分明ナラサルトキ

二 犯則嫌疑者逃走ノ虞アルトキ

三 證據湮滅ノ虞アルトキ

第十四條 稅務署長ハ犯則事件ノ調査ニ依リ犯則ノ心證ヲ得タルトキハ其ノ理由ヲ明示シ罰金若クハ科料ニ相當スル金額、沒收品ニ該當スル物品、徵收金ニ相當スル金額及書類送達並差押物件ノ運搬、保管ニ要シタル費用ヲ指定ノ場所ニ納付スヘキ旨ヲ通告スヘシ但シ犯則者通告ノ旨ヲ履行スルノ資力ナシト認ムルトキハ直ニ告發スヘシ

第十五條 第十四條ノ通告アリタルトキハ公訴ノ時效ヲ中斷ス

第十六條 犯則者通告ノ旨ヲ履行シタルトキハ同一事件ニ付訴ヲ受クルコトナシ

第十七條 犯則者通告ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ履行セサルトキハ稅務署長ハ告發ノ手續ヲ爲スヘシ但シ七日ヲ過クルモ告發前ニ履行シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 犯則事件ヲ告發シタル場合ニ於テ差押物件アルトキハ差押目錄ト共ニ裁判所ニ引繼クヘシ

前項ノ差押物件所有者又ハ市町村ノ保管ニ係ルトキハ保管證ヲ以テ引繼ヲ爲シ差押物件引繼ノ旨ヲ保管者ニ通知スヘシ

第十九條 稅務署長犯則事件ヲ調査シ犯則ノ心證ヲ得サルトキハ其ノ旨ヲ犯則嫌疑者ニ通知シ物件ノ差押アルトキハ之ヲ解除ヲ命スヘシ

第二十條 本法ニ於テ間接國稅ト稱スルハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第二十一條 本法中市町村吏員又ハ市町村トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノニ適用ス

法律第八號 (明治四十一年三月五日)

間接國稅犯則者處分法中左ノ通改正ス

第七條第一項中「所有者」ヲ「所有者又ハ所持者」ニ、同條第二項及第十八條中「所有者」ヲ「所有者、所持者」ニ改ム

第八條ニ左ノ一項ヲ加フ

日没前ヨリ開始シタル臨檢、搜索又ハ差押ニシテ必要アル場合ハ日没後迄之ヲ繼續スルコトヲ得

第十四條中「但シ犯則者通告ノ旨ヲ履行スル資力ナシト認ムルトキハ直ニ告發スヘシ」ヲ「但シ沒收品ニ該當スル物品ニ付テハ納付ノ申出ノミヲ爲スヘキ旨ヲ通告スルコトヲ得」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

犯則者通告ノ旨ヲ履行スルノ資力ナシト認ムルトキハ前項ノ通告ヲ要セス直ニ告發スヘシ

第十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

第十四條第一項但書ニ依ル通告ニ對シ犯則者通告ノ旨ヲ履行シタル場合ニ於テ沒收品ニ該當スル物品ヲ所持スルトキハ公賣其他必要ノ處分ヲ爲ス迄之ヲ保管スルノ義務アルモノトス但シ保管ニ要スル費用ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

犯則者ノ居所分明ナラサル爲又ハ犯則者書類ノ受領ヲ拒ミタル爲通告スルコト能ハサルトキ亦前項ニ同シ

間接國稅犯則者處分法施行細則亦之ヲ準用スルコトトシタリ

大藏省令第二十四號 (明治三十八年四月十四日)

明治三十八年法律第十一號鹽專賣法第三十八條施行ニ付テハ明治三十三年勅令第五十二號間

接國稅犯則者處分法施行規則ノ規定ヲ準用ス

勅令第五十二號 (明治三十三年三月二十二日)

間接國稅犯則者處分法施行規則

第一條 間接國稅犯則者處分法ニ於テ間接國稅ト稱スルハ左ノ國稅トス

- 一 酒造稅
- 二 酒精及酒精含有飲料稅
- 三 沖繩縣酒類出港稅
- 四 麥酒稅
- 五 醬油稅(自家用醬油稅トモ)
- 六 砂糖消費稅
- 七 賣藥印紙稅
- 八 印紙稅
- 九 骨牌稅
- 十 毛織物消費稅

第二條 收稅官吏、物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ所有者又ハ市町村ヲシテ保管セシムルトキハ之ニ封印ヲ爲シ若ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ差押ヲ明白ニスヘシ

第三條 差押目錄ニハ物件ノ品名、數量、帳簿、書類ノ名稱、箇數、差押ノ場所及時、所持者ノ住所又ハ居所、氏名ヲ記載スヘシ

第四條 收稅官吏、物件、帳簿、書類等ヲ差押ヘタル場合ニ於テ之ヲ官廳又ハ市町村ニ送致スルトキハ差押目錄ノ謄本ヲ其ノ所持者ニ交付スヘシ

第五條 收稅官吏市町村ヲシテ差押物件ノ保管ヲ爲サシムルトキハ其ノ旨ヲ差押當時ノ所持者ニ通知スヘシ

第六條 稅務管理局長間接國稅犯則者處分法第七條ニ依リ差押物件ヲ公賣スルトキハ物件ノ品名、數量、公賣ノ事由、公賣ノ場所及時其ノ他必要ノ事項ヲ公告スヘシ

第七條 稅務管理局長間接國稅犯則者處分法第七條ニ依リ差押物件ノ公賣代金ヲ供託シタルトキハ其ノ金額ト共ニ其ノ旨ヲ差押當時ノ所持者ニ通知スヘシ

第八條 收稅官吏臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲シタルトキ調製スル顛末書ニハ臨檢、搜索、尋問又ハ差押ノ事實、場所及時並供述ノ要領ヲ記載スヘシ

第九條 間接國稅犯則者處分法第十四條ノ通告ハ通告書ヲ送達シテ之ヲ爲スヘシ

第十條 通告書ノ送達ハ使丁ニ依リテ之ヲ爲シ其ノ受領證ヲ徵スヘシ但シ配達證明郵便ヲ以テ送達ヲ爲スコトヲ得

第十一條 稅務管理局長間接國稅犯則者處分法第十九條ニ依リ犯則ノ心證ヲ得サル旨ヲ犯則嫌疑者ニ通知スル場合ニ於テ同法第七條ニ依リ供託シタル金額アルトキハ供託受領證ニ供託金ヲ受取ルヘキ事由ヲ證スヘキ書面ヲ添付シ之ヲ差押當時ノ物件所有者ニ交付スヘシ

第十二條 犯則事件ノ調査及處分ニ關スル書類ニハ每葉契印スヘシ文字ノ挿入、削除又ハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印スヘシ

文字ヲ削除スルトキハ其ノ字體ヲ存シ置キ其ノ字數ヲ記載スヘシ

第十三條 收稅官吏ハ直接ト間接トヲ問ハス差押物件又ハ沒收物件ヲ買受クルコトヲ得ス

附則

本令ハ間接國稅犯則者處分法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十一章 取締

鹽稅ニ在リテハ間接國稅ノ一トシテ施行規則中ニ之ヲ追加シタリ

勅令第三百三十五號 (明治三十八年四月十三日)

間接國稅犯則者處分法施行規則中左ノ通改正ス

第一條中第十號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

十一 鹽稅

間接國稅犯則者處分法ヲ準用スルノ結果同法中收稅官吏又ハ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フ官吏中ニ追加スルノ必要アリ稅務官吏ニ屬スル職務ヲ行フ官吏ハ鹽務官吏ヲ、稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フ官吏ハ鹽務局長又ハ鹽務局出張所長ヲ追加シタリ

勅令第三百三十六號 (明治三十八年四月十四日)

鹽專賣法第三十八條第二項ニヨリ間接國稅犯則者處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ鹽務官吏、收稅官吏、稅關官吏、粗製樟腦樟腦油若ハ煙草專賣ニ從事スル官吏又ハ警察官吏トシ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ鹽稅ノ犯罪ニ關スル場合ヲ除クノ外鹽務局長又ハ鹽務局出張所長トス

明治四十年十月ニ至リ鹽、煙草、樟腦ノ三專賣ヲ專賣局ニ於テ併セ管掌スルコトトナリタル爲間接國稅犯則者處分法中收稅官吏又ハ稅務署長ノ職務ヲ行フヘキ官吏ヲ左ノ如ク改メ同時ニ稅關官吏ノ發見ニ係ル專賣法違犯事件ニ關シ稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ違犯事件發見地ヲ管轄スル稅關長ト爲シタリ

勅令第三百一十一號 (明治四十年九月二十八日)

煙草專賣法第六十七條但書、鹽專賣法第三十八條第二項、粗製樟腦樟腦油專賣法第二十三條第二項ニ依リ間接國稅犯則者處分法中收稅官吏ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ專賣官吏、收稅官吏、

税關官吏、警察官吏又ハ森林官吏トシ、稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ、稅關官吏ノ發見ニ係ル違反事件ニ關シテハ、違反事件發見地ヲ管轄スル稅關長トシ、其ノ他ノ官吏ノ發見ニ係ル違反事件ニ關シテハ、違反事件發見地ヲ管轄スル專賣支局長トス。但シ鹽稅ノ犯罪ニ關スル場合ハ、此ノ限ニ在ラス。

煙草專賣法、鹽專賣法及粗製樟腦、樟腦油專賣法違反事件ニ關シテハ、間接國稅犯則者處分法施行規則ヲ準用ス。

附 則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス。

明治三十七年勅令第百六十四號、明治三十八年勅令第百三十六號ハ之ヲ廢止ス。

法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ、租稅及葉煙草專賣ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テ各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用スルノ件ハ、明治三十三年法律第五十二號ヲ以テ定メラレシカ、鹽專賣法ノ發布セラレルヤ其ノ第三十八條ニ於テ鹽專賣法規ニ依ル犯罪ニモ右法律ヲ準用スルコトニ定メタリ。

法律第五十二號 (明治三十三年三月十二日)

第一條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ、租稅及葉煙草專賣ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ、各法規ニ規定シタル罰則ヲ法人ニ適用ス。但シ其ノ罰則ニ於テ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定シタルトキハ、法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス。

第二條 法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ、法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス。

第三條 法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテ一月以内科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ、民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス。此場合ニ於テハ、檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力アルモノトス。

前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ、執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス。

政府ハ鹽ノ專賣權ヲ有スル結果トシテ專賣物件タル鹽ハ、結局專賣官署ノ取扱ニ歸スヘキモノナルカ故ニ、稅關又ハ裁判所ニ於テ鹽專賣法違反ニ因リ鹽ヲ沒收シタルトキハ、之ヲ鹽務官署ニ引渡

スコトトシ左記ノ如ク税關沒收鹽ニ付テハ大藏省訓令ヲ以テ税關ニ訓示シ裁判所沒收鹽ニ付テハ司法省ト左ノ如ク打合ヲ了セリ

大藏省訓令第三十五號 (明治三十八年四月十二日)

△税關鹽務局

鹽專賣法施行後税關ニ於テ鹽ヲ沒收シタルトキハ之ヲ所轄鹽務局又ハ鹽務局出張所ニ引渡スヘシ

大藏省主税局長通牒第一八二〇號 (明治三十八年五月六日)

鹽專賣法違反ニ因リ裁判所ニ於テ鹽ヲ沒收ヲ宣告シタルトキ沒收鹽ハ當該檢事局ヨリ其ノ地所轄鹽務局又ハ鹽務局出張所へ引渡方ニ關シ別紙甲號ノ通大藏大臣ヨリ司法大臣へ照會相成候處別紙乙號ノ通司法大臣ヨリ回答有之候間檢事局ヨリ沒收鹽ヲ引渡ヲ受ケタルトキハ領收書ヲ發シテ受渡ノ手續ヲ了セラレ度右及通牒候也

大藏大臣照會往第三五三號 (明治三十八年四月十一日)

鹽專賣ハ六月一日ヨリ實施可相成ノ處同法違反者ニ對シ裁判所ニ於テ鹽ヲ沒收ヲ爲シタルトキハ之ヲ所轄鹽務局又ハ鹽務局出張所へ引渡相成候様檢事局へ御訓令相成度此段及照會候也

司法大臣回答會檢甲第九五號 (明治三十八年五月二日)

裁判所ニ於テ沒收シタル鹽ヲ所轄鹽務局又ハ鹽務局出張所へ引渡方ニ付四月十一日往第三五三號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ御來示ノ通訓令取計置候此段及回答候也

鹽專賣ニ關スル犯則處分ハ間接國稅犯則者處分法及同法施行規則ノ規定ニ準シ取扱フヘキコトハ前述ノ如シ而シテ其ノ違反者處分ニ關シ詳細ナル取扱手續ハ取締ニ關スル取扱手續ト共ニ其ノ實務ヲ司掌スル鹽務官署ニ於テ適宜制定セシメ鹽專賣法違反者ニ對シ處分シタルトキハ其ノ要領ヲ申報セシメタリ

鹽專賣法施行ノ際販賣ノ目的ヲ以テ所有シタル鹽ヲ申告ヲ爲サスシテ專賣法實施後其ノ一部ヲ販賣ニ供シ一部ヲ現存セルモノニ對シテハ鹽專賣法第四十四條第三項税金ノ三倍ニ相當スル罰金ヲ以テ處分スヘキヤ又同法第二十五條(讓渡犯)ヲモ併科スヘキヤニ付札幌鹽務局長ノ照會ニ對シ明治三十八年八月申告ヲ怠リタル所爲ニ對シテハ法第四十四條第三項ヲ以テ處分シ且相當鹽稅ヲモ賦課スヘキハ勿論ニシテ其ノ納稅期日後ニ於テ尙所有所持ニ係ル鹽ニ付テハ更ニ法第五條ヲモ適用シ第二十五條ヲ以テ處分スヘキモノナルモ事實上頗ル酷ニ涉ルノ虞アルニ依リ單ニ

法第四十四條第三項ヲ以テ處分シ第二十五條ヲ併科セサルコトニ主稅局長ヨリ回答シ各鹽務局長ニ通牒シタリ

鹽專賣法第四十四條第三項ニハ鹽ノ數量ニ對スル稅金ノ三倍ニ相當スル罰金トアリ然ルニ其ノ金額ニシテ二圓以下ナル場合ト雖刑法ノ總則ニ依ラスシテ罰金ノ名稱ヲ以テ處分スヘキモノナルヤ札幌鹽務局長ノ伺ニ對シ明治三十九年三月見込ノ通ナル旨回答シタリ

共犯ニ非スシテ政府ノ賣渡ササル鹽ノ讓渡カ數人ニ關聯シ之ヲ消費シタル爲沒收不能ニ至ラシメタル犯則事件ニ付鹽專賣法第二十五條ヲ適用シ追徵金ヲ徵收スル場合ニ於テ追徵義務者ハ何人ナリヤ三田尻鹽務局長ヨリ照會アリ右ハ讓渡又ハ消費ノ行爲毎ニ犯罪行爲成立スルモノナルカ故ニ犯人各別ニ鹽專賣法第十八條ノ賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追徵スヘキコトニ省議ノ決定ヲ經テ左ノ如ク回答シタリ

三田尻鹽務局長照會事第二一三號 (明治三十九年三月七日)

政府ノ賣渡ササル鹽ヲ甲ハ乙ニ無償讓渡シ乙ハ丙ニ有償讓渡シ丙ハ更ニ善意ノ一般需用者ニ讓渡シ犯則ニ依ル鹽ヲ沒收不能ニ至ラシメタル共犯ニアラサル犯則事件ニ付鹽專賣法第二十五條ヲ適用シ追徵金ヲ徵收スル場合ハ追徵金ノ賠償的性質ヨリシテ最初利得ヲ得タルモノ即チ乙者ヨリ追徵シ若共犯ノ性質ナルトキハ連帶ニテ追徵スヘキモノト被存候へ共聊カ疑義ヲ存シ候條何分ノ御意見相仰候尙左記ノ解釋ヲナス餘地モ可有之被存候間御參考迄申添候

- (一) 甲ノミヨリ追徵ストナスモノ
- (二) 丙ノミヨリ追徵ストナスモノ
- (三) 甲、乙、丙三人ヲ連帶者トシテ追徵ストナスモノ
- (四) 甲、乙、丙三人格別ニ追徵ストナスモノ

大藏省主稅局長回答臨第一三五二號 (明治三十九年三月二十九日)

本月七日事第二一三號ヲ以テ鹽專賣法第二十五條追徵金徵收ニ關スル疑義ノ件ニ付御照會ノ趣了承右ハ犯人各別ニ同法第十八條ノ賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追徵スヘキモノト省議決定致候條御了知相成度

鹽製造者ノ雇人其ノ他ノ從業者カ鹽ヲ盜取シタル場合ヲ除クノ外鹽專賣法規ニ違犯シタル場合

ニ於テハ鹽專賣法第三十七條ノ適用上業務主ノミヲ處罰スルコトニ左記ノ如ク處分方ヲ一定シタリ

三田尻鹽務局長照會（明治三十九年五月一日）

鹽專賣法第三十七條ハ製造者ノ雇人其ノ他ノ從業者カ假令ハ鹽ヲ盜取シタル場合ナトヲ除ク外本法及ヒ本法ニ基キ發スル命令ニ違犯シタル場合ニハ製造者ハ總テ共犯者タルヲ免カレサルヤ又ハ製造者ノミヲ處罰スヘキヤ聊カ疑ヲ生シ候條何分ノ御回答相成度

大藏省主稅局長回答臨第一九八〇號（明治三十九年五月八日）

本月一日付ヲ以テ鹽專賣法第三十七條適用上ノ疑義ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ鹽製造者又ハ鹽賣買業者ノミヲ處罰スルコトニ判例一定致居候條右ニ御了知相成度

政府ノ許可ヲ受ケスシテ鹹水ヲ製造シタルモノニ對シテハ明治三十九年三月法律第十五號ヲ以テ改正ニ係ル鹽專賣法第四十條ノ二ニ依リ法第二十五條ヲ準用シテ相當罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル鹹水ヲ沒收スヘキハ勿論ナルモ若シ其ノ鹹水ニシテ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルモノニ在リテハ追徵ノ根基タル鹽專賣法第十八條ノ所謂賣渡定價ナルモノナキヲ以テ此ノ場合ニ於ケル鹹水ノ追徵ハ法第二十五條ヲ準用シ得ヘキニ非ストシ鹿兒島鹽務局ノ鹹水ニ關スル疑義伺出ニ對シ明治三十九年六月回示シタリ

鹽專賣法第二十五條ノ追徵金ハ讓渡又ハ消費ノ事實カ數人ニ關聯スル場合ニ於テハ犯人各別ニ對シ追徵スヘキコトハ前ニ述ヘタルカ如キモ若シ數人ノ共同犯罪ニ係ルトキハ連帶ト看做シ追徵金ヲ徵收スヘキコトトシタリ

宇都宮鹽務局長照會事第二二〇號（明治四十年五月一日）

鹽專賣法第二十五條ノ追徵金徵收方ニ關シテハ曩ニ省議御決定ノ次第モ有之候へ共左記ノ場合ニハ其ノ趣ヲ異ニシ疑義有之候間貴見承知致度

第一 甲乙丙三人共同シテ情ヲ知リテ政府ヨリ賣渡ササル鹽四百斤ヲ買受ケ共同シテ他ニ販賣シ其ノ賣得金ヲ分配シタル場合追徵金ノ徵收方ニ關シ左ノ三說アリ

甲說 甲乙丙三人各自ヨリ四百斤ニ對スル賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追徵ス

乙說 甲乙丙各自ノ分配額ニ應シ三分シテ追徵ス

丙說 甲乙丙連帶シテ四百斤ニ對スル賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第二 前號甲乙丙ノ中甲カ買受ケタル鹽ヲ所持シ沒收セララルル場合ニハ乙丙ニ對シテ追徵金ヲ徵收スルヤ否ヤ

大藏省主稅局長回答往第七八九六號（明治四十年五月十七日）
第一號ノ場合ニハ共犯者ニ係ル追徵金ハ總テ連帶ト見做シ徵收相成可然第二號ノ場合ニハ追徵金ハ之ヲ徵收セサル儀ト存候

鹽製造者自己ノ製造ニ係ル鹽ヲ他ニ販賣スルノ意思ヲ以テ運搬途中發見セラレタルモノノ處分
方ハ鹽專賣法第五條中所持ノ所爲ヲ以テ同法第二十五條ニ依リ問擬スヘキヤ又ハ讓渡ノ所爲ト
シテ法第二十五條ニ依リ問擬スヘキヤ若ハ法ニ明文ナシトシテ無罪トスヘキヤ三春收納所長ノ
伺ニ對シ明治四十年十一月第一說ヲ可トシ回示シタリ
政府ヨリ賣渡シタル鹽ヲ鹽專賣法施行地外ヨリ施行地内ニ密輸入シ之ヲ販賣シタルモノノ處分
方ニ付左ノ如ク回答シタリ

函館收納所長照會第三六一號（明治四十一年二月十四日）

當所所轄内ニ於テ鹽專賣法施行地外ヨリ施行地内ニ鹽ヲ密輸入シ販賣セル者アリ此ノ場合ハ鹽專賣法第三條ノ違反者ニ付同法第二十五條ニ據リ處分ス可
キコトハ何等疑ヲ存スル餘地ナシト雖モ施行地外ニ於テ同一地方ニテ販賣ノ目的ヲ以テ運送ノ爲メ帆船ニ積載シ出帆シタルニ偶々天候不良ノ爲メ目的地
ニ達セス不得已鹽專賣法施行地内ニ入港シ同地ニ於テ之ヲ販賣シタル事項アリ右様ノ場合ハ當初ヨリ密輸入ノ目的アリタルモノト同一ニ處斷ス可キ哉又
當初ヨリ密輸入ノ目的アリタル場合ニ不拘情ヲ知りテ買取りタル者ニ對スル處分如何
又右ノ鹽ハ何レモ政府ノ賣渡シタルモノヲ專賣法施行地外ニ移出シタル者ニ有之候
右差懸リ處分ヲ要スル義有之候ニ付至急御明示相成度

專賣局收納部長回答甲第九二七號（明治四十一年二月二十五日）

右ハ法第三條違反トシテ處斷相成可然尙情ヲ知りテ之ヲ買受ケタル者ニ對シテハ法第二十五條第三號ニ依リ處分可有之

追テ右販賣鹽カ特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタルモノナルトキハ當該賣渡官廳及關係稅關若又一般定價鹽ナルトキハ關係稅關へ至急事實通報可有之

犯則アレハ之ニ對シ制裁ヲ加ヘ相當處罰スルノ要アリト雖輕微ナル犯則事件ニシテ特ニ處罰ノ
必要ヲ認メサルモノニ付テハ一時其ノ處分ヲ猶豫シ一定期間其ノ行狀ヲ監視シ改悛ノ狀アルヲ
認メタル場合ニ於テハ其ノ罪狀ヲ不問ニ付スルコト取締政策上亦適當ノ處分ナルヘク煙草專賣
ニ在リテハ微罪處分猶豫ニ關シ規定ヲ設ケ猶豫スヘキ犯則ノ最高限度ニ付一定ノ標準ヲ定メ之
ニ依リ執行セルモ鹽專賣ニ在リテハ未タ之カ實行ヲ見サリシニ明治四十年十月三專賣統一ヲ見
ルニ至リシ爲メ煙草專賣法違反者處分トノ權衡上明治四十一年四月鹽專賣法違反者處分標準及

第十條	第二十九條	同一場所ニ於テ鹽製造販賣兼業	三十圓以上 三十圓以下	—	鹽千斤迄 五圓以上 五圓以下	千斤以上ハ五百斤以内ヲ加フル 每ニ其ノ五分ノ一ヲ加フ
第十一條	第三十條	鹽製造 相續承繼 届出怠 無許可承 繼廢止不 申告	二圓以上 二十圓以下	—	—	情狀ニ依リ適宜其ノ額ヲ定ムル モノトス
第二十條ノ二	第三十條ノ二	制限外價格ノ鹽販賣	五百圓以上 五百圓以下	—	鹽千斤迄 五圓以上 五圓以下	鹽千斤以上ハ五百斤以内ヲ加フ ル每ニ其ノ五分ノ一ヲ加フ
第二十一條	第三十一條	他物混和鹽販賣	五百圓以上 五十圓以下	混和鹽	鹽千斤迄 五圓以上 五圓以下	鹽千斤以上ハ五百斤以内ヲ加フ ル每ニ其ノ五分ノ一ヲ加フ
第二十二條	第三十二條	鹽製造者帳簿不 鹹水製造者同 同意記同許記 鹽賣捌人	三十圓以上 三十圓以下	—	意記三十日迄 不調製十五日迄 不正帳帳五十圓 以下	上欄期間及價格以内ヲ加フル每 ニ其ノ五分ノ一ヲ加フ
第三十三條	第三十三條	虛偽答辯、職務執行拒 絶、忌避、加支障	三十圓以上 三十圓以下	—	虛偽答辯、職務執行拒 絶、忌避、加支障 三十圓以上 三十圓以下	十五圓迄 二十圓迄

備考

一 左ノ場合ニ於テハ各號ニ對シ前掲標準ニ依リ定メタル金額ノ五分ノ一乃至三分ノ一ヲ加減スルコトヲ得

甲 加重スヘキ場合

一 再犯以上ノモノ

二 地方ニ於テ相當ノ資産地位、名望アルモノ

三 犯情最モ重シト認ムルモノ

四 前各號ノ外特殊ノ事情アリト認ムルモノ

乙 輕減スヘキ場合

一 自首シタルモノ

二 情狀ノ酌量スヘキヲ認ムルモノ

三 此ノ標準ニ依リ算出シタル金額ニシテ圓位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ總テ四捨五入スルモノトス

三 木表程度欄中其ノ四分ノ一又ハ五分ノ一ヲ加フトアルハ最低範圍ノ四分ノ一又ハ五分ノ一ヲ遞加スルモノトス

專賣局長官達甲第一四三〇號ノ三 (明治四十一年四月六日)

明治三十九年七月二十三日甲第五五三八號微罪處分猶豫心得ヲ鹽專賣法違犯者ニ準用ス

專賣局收納部長通牒甲第一四三〇號ノ二 (明治四十一年四月六日)

本日達甲第一四三〇號ヲ以テ鹽專賣法違犯者處分標準指定相成候ニ付テハ明治三十八年五月十一日第四九六二號ノ二煙草專賣局第一部長通牒ノ趣旨ニ依リ之カ適用ヲ謬ラス處分ノ目的ヲ達スルコトニ努メラレ度 右依命

專賣局收納部長通牒甲第一四三〇號ノ四（明治四十一年四月六日）
 鹽專賣法違反者處分猶豫限度ハ左表ヲ標準トシ明治三十九年七月二十三日甲第五五四號煙草專賣局第一部長通牒ニ準シ御取扱相成度 右依命
 鹽專賣法違反者處分猶豫限度表

違反條項	處罰條項	犯	目	罰金範圍	最高限度
第五條	第二十五條	無許可鹽鹼水製造 政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ所有、所持、讓渡、質入、消費、鹼水ヲ讓渡、質入、鹽製造以外ノ用途ニ使用 情ヲ知リテ政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓受	十圓以上 五百圓以下	鹽 二十斤 鹼水 三斗	
	第二十六條	正當ノ事由ナクシテ鹽ノ引渡ヲ爲ササル者指定通路ニ依ラスシテ鹽ヲ運搬シタル者	五十圓以上 五十圓以下	鹽 四百斤	
	第二十七條	指定期間外又ハ許可以外ノ場所ニ於テ鹽、鹼水ヲ製造若クハ貯藏、知情場所供與	五十圓以上 五十圓以下	鹽 四十斤 鹼水 五十斤	
第九條	第二十八條	無許可、許可事項變更	三十圓以上 三十圓以下	鹽 十日	
第十條	第二十九條	同一場所ニ於テ鹽製造販賣兼業	三十圓以上 三十圓以下	鹽 百斤	
第十一條	第三十條	相續承繼届出意、無許可承繼 廢止不申告	二十圓以上 二十圓以下		
第二十條ノ二	第三十條ノ二	制限外價格ノ鹽販賣	五百圓以上 五百圓以下		
第二十一條	第三十一條	他物混和鹽販賣	五十圓以上 五十圓以下		
第二十二條	第三十二條	鹽、鹼水製造者及鹽賣捌人帳簿不調製、怠記、詐記	三十圓以上 三十圓以下		
	第三十三條	虛偽答辯、職務執行拒絕、忌避、加支障	三十圓以上 三十圓以下		

備考

一 最高限度欄ニ其ノ限度ヲ示ササルモノハ實際ノ情狀ニ依リ適宜決定スルヲ得ヘキモノトス

情ヲ知リテ政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓受ケタル者更ニ之ヲ他人ニ讓渡シタル場合ニ於ケル處分
 方ニ付撫養收納所長ヨリ照會アリタルニ對シ左ノ如ク回示シタリ

撫養收納所長照會第三二七九號（明治四十一年六月八日）

情ヲ知リテ政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓受ケタル者力更ニ之ヲ他人ニ讓渡シタル場合ニ於テハ法第二十五條第一項第一號並ニ同第三號ニ依リ各別ニ處分シ且賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追徴ス可キカ又ハ第三號ノ行爲ハ第一號ノ行爲ヨリ必然生スヘキモノトシテ之ヲ處分セス單ニ第一號ノ行爲ノミニ付處分スヘキヤ聊疑義ニ涉リ候條至急何分ノ御回報相煩度

專賣局收納部長甲第二六五五號（明治四十一年六月二十六日）

鹽專賣法違犯者處分ニ關スル件前段見込ノ通りナルモ追徴金ハ唯讓渡ノ行爲ニ對シテノミ之ヲ科スヘキモ了知相成度

犯則處分ニ關スル追徴金ノ算定ハ何レノ時期ニ於ケル價格ニ依ルヘキヤ三田尻收納所長ノ照會ニ對シ左ノ如ク回答シタリ

三田尻收納所長照會發事第八一四號（明治四十一年六月五日）

追徴金算定方ニ付左ノ數說有之何レヲ可トスヘキカ

第一說 犯罪當時ノ價格ニ依ル

第二說 犯罪發見當時ノ價格ニ依ル

第三說 犯罪當時ト發見當時ノ價格ヲ比較シ其輕キニ依ル

專賣局收納部長依命回答甲第二六五六號（明治四十一年六月二十七日）

左ノ通御了知相成度

一 讓渡、消費ニ依リ又ハ其物件ニシテ他ニ所有者アル爲メ沒收スルコトヲ得サル場合ハ沒收不能ノ事實發生ノ時ニ於ケル價格ニ依ル

微罪不問ニ付シタル犯則鹽ノ取扱方ニ付尾道收納所長ヨリ請訓アリ然ルニ鹽ニ付テハ煙草專賣法第三十四條第二項ノ如キ政府ニ於テ處分シ得ルノ明文ナキヲ以テ微罪不問ニ付シタル犯則鹽ハ其ノ儘不問ニ付スヘク若シ其ノ物件ヲ不問ニ付シ難キ場合ニ於テハ相當處分スヘキ旨左ノ如ク依命回答シタリ

尾道收納所長請訓事第二一三六號（明治四十一年七月十五日）

煙草專賣法違反者微罪處分猶豫心得ハ鹽樟腦專賣法違反者ニモ準用候事ニ相成居候處鹽及樟腦專賣法ニ在リテハ煙草專賣法第三十四條第二項ノ如キ政府ニ於テ處分シ得ルノ明文無之候ニ付左記場合ニ於ケル犯則鹽ハ如何取扱可然哉至急何分ノ御指揮相仰度

甲某アリ住所姓名不詳者ヨリ政府ノ賣渡ササル鹽若干ヲ知情讓受ケ所持セル事實ヲ當該官吏ニ檢舉セラレタリ本件ハ無論鹽專賣法上ノ違反トシテ處分スヘキモナルモ事輕微且情狀ニ於テ酌量スヘキ點アルヲ以テ特ニ處分猶豫ノ取扱ニ付シ度然ルニ今後甲ノ行動改悛ノ實アリテ一定ノ期間後前記犯則行爲ヲ不問ニ付スルトセハ該犯則鹽ノ處分方如何

專賣局收納部長依命通牒甲第三一九一號（明治四十一年八月十二日）

犯則者ノ處分ヲ不問ニ付スル場合ニ於テハ其ノ犯則鹽モ亦其ノ儘不問ニ付スルコトニ取扱可相成若シ物件ヲ不問ニ付シ難キ場合ニ於テハ相當處分ノ外無之ト存候

煙草鹽樟腦ノ三專賣統一ノ結果明治四十一年八月三專賣取締ニ關スル規定ヲ合一シタル專賣取

締規程ヲ制定シタリ右取締規程ニハ取締ノ外犯則事件ニ關スル事項其ノ他報告ニ至ル迄取締ニ關スル各般ノ事項ヲ網羅シタルヲ以テ從前各別ニ制定セラレアル專賣法違反事件取扱手續專賣法違反者處分標準微罪處分猶豫心得煙草密輸入取締又ハ通信等ニ關スル諸規定ハ之ヲ廢止セラレタリ而シテ各收納所ハ犯則處分ニ關スル事蹟ニ付テハ專賣取締規程第二百二十六條ニ依リ毎月十日迄ニ前月分ノ違反事件成績報告表及違反者處分報告表ヲ專賣局ニ提出スヘキコトトナシタリ

鹽元賣捌人カ小賣行爲ヲ爲シタル場合ノ處分方ニ付三田尻收納所長ノ照會ニ對シ左ノ如ク回答シタリ

三田尻收納所長照會事發第一三六四號 (明治四十一年九月十八日)

鹽元賣捌人カ小賣行爲ヲ爲シタル場合ノ處分方ニ付左ノ二説アリ何レヲ可トスヘキヤ

甲説 法第十七條ノ二違反トシテ同法第三十條ノ三ヲ適用スルコト

乙説 單ニ指定取消ノ要件ニ止ムルコト

專賣局收納部長回答甲第三七六〇號 (明治四十一年九月二十九日)

法第十七條ノ二ノ違反トシテ同第三十條ノ三ヲ適用處分シ尙必要ニ依リ指定ノ取消ヲ爲スヘキ儀ト承知相成度

追テ販賣制度改正即下忽チ違反者ヲ嚴罰スルハ些カ穩當ナラサルヤニ被存候條其ノ情狀ニ依リテハ當分ノ内先ツ以テ一應ノ訓戒ヲ加ヘ尙改悛ノ實ナキニ及ンテ之ヲ處分スルコトニ取扱相成度

沒收スヘキ鹹水ノ處分方ニ付東京收納所長ノ請訓ニ對シ左ノ如ク指示シタリ

東京收納所長請訓事第七一五號 (明治四十二年三月十七日)

左記事項何分ノ御指示相仰度

一 沒收確定ノ上本人保管ノ儘裁判所ヨリ引渡ヲ受ケタル鹹水ニシテ該物件所在地方ニ鹽製造者ナク賣却ノ見込ナキカ又ハ到底運搬不能ナル容器ニ容レアル爲メ新タニ容器ヲ購入シ運賃ヲ支拂ヒ引取ヲナスモ收支償ハサル見込確定シ居ルモノニ對シテハ便宜所員出張ノ際不取締ナキ様廢棄處分ヲナシ差支ナキヤ

二 犯則者沒收セラルヘキ鹹水ヲ指定場所ヘ納付セムトスルモ到底他ニ運搬シ能ハサル容器ニ容レ封印シアリ且ツ該鹹水ニシテ普通ノ性狀ヲ有セサル爲メ(鍊鹽藏用殘鹽ニテ製シタル液汁ノ如キモノ)納付場所ニ於テ賣却見込ナキ場合ハ更ニ他ニ回送セサルヘカラサルモ斯クテハ收支相償ハサルヲ以テ指定場所ヘ納付以前ニ於テ前項ニ準シ處理差支ナキヤ

專賣局長官指示甲第一〇〇七號 (明治四十二年三月二十三日)

一、二項共見込ノ通取計ヲヘシ

間接國稅犯則者處分法ニ依ル通告處分ノ效力ニ關シ司法省ニ打合セタルニ右ハ檢事ニ告發ヲナス迄效力ヲ有スルモノナルモ一旦檢事ニ告發シタルトキハ爰ニ通告處分ハ其ノ效力ヲ失フニ至リ告發以後ノ處分ハ一ニ檢事ニ歸スルヲ以テ前ノ通告處分ヲ履行スルコトヲ得サルハ勿論更ニ通告處分ヲ爲シ又ハ告發ヲ取下クルコトヲ得ストノ回答ヲ受ケ其ノ旨左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長依命通牒甲第一九四八號 (明治四十二年六月七日)

通告處分ノ效力ニ關シ別紙甲號ノ通司法省ヘ照會相成候條乙號ノ通回答有之候ニ付テハ自今右回答ノ趣旨ニ依リ取扱相成度 右依命

專賣局長官照會甲第一七六一號 (明治四十二年五月十四日)

間接國稅犯則者處分法ノ規定ニヨリ犯則者ニ對シ通告處分ヲナシ不履行ノ爲告發シタル事件ニシテ不起訴トナリ又ハ起訴不起訴決定前犯則者ヨリ檢事ニ對シ通告ノ旨ヲ履行スヘキコトヲ申出テタル場合ニ於テ檢事ヨリ此ノ申出ニ應スヘキ旨告發官ヘ交渉スル向有之趣ニ候處元來通告履行ハ本局ノ望ムヘキコトニ候得共通告處分ノ效力カ告發ト共ニ消滅スルモノトセハ履行ヲ受クルニハ更ニ通告ヲ爲ササルヘカラス又告發後ト雖通告處分ハ依然トシテ效力ヲ存シ單ニ告發ノ爲履行ヲ受クヘキ職權ヲ中止セラレタルニ過キス從テ告發ヲ取下クレハ職權ヲ回復シ履行ヲ受クルヲ得ルモノトセハ右檢事ノ交渉ニ應スルコトヲ得ル様被存候若シ假ニ後者ヲ是トセハ告發ノ取下ニ依リ履行ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間ハ事件力如何ナル程度ニ進行スル迄ナルヤ換言セハ通告ノ效力消滅ノ時期如何等ニ關シ貴省ノ御意見ヲ承知致度此段及照會候也

司法省民刑局長回答民刑甲第九六號 (明治四十二年五月二十六日)

本月十四日甲第一七六一號ヲ以テ間接國稅犯則者處分法ニ依ル通告處分ノ效力ノ件ニ關シ御照會ノ趣領承犯則事件ニ關スル通告處分ハ其ノ事件ニ付檢事ニ告發ヲナス迄效力ヲ有スルコトハ明カナル所ナルモ之ヲ檢事ニ告發シタルトキハ茲ニ通告處分ハ其ノ效力ヲ失フニ至リ告發以後ノ處分ハ一ニ檢事ニ歸スルヲ以テ前ノ通告處分ヲ履行スルコトヲ得サルハ勿論更ニ通告處分ヲ爲シ又ハ告發ヲ取下クルコトヲ得サル義ト致思考候此段及回答候也

産業組合法ニ依リ設立セル物品購買販賣組合ニ於テ無指定ニテ鹽及煙草ヲ買受ケ之ヲ組合員ニ販賣シタルトキハ非賣捌人販賣犯トシテ處分スヘキヤ尾道支局長ノ請訓ニ對シ鹽ニ付テハ購入價格又ハ其ノ以下ニテ組合員ニ供給スルハ實質上分配ニ過キサルヲ以テ鹽專賣法第十七條ノ二ニ所謂販賣犯トシテ處分スヘキモノニアラサル旨左ノ如ク依命通牒ニ及ヒタリ

尾道專賣支局長請訓事第一三四五號 (明治四十二年四月十七日)

産業組合法ニ依リ設立セル物品購買販賣組合ニ於テ無指定ニテ鹽及煙草ヲ買受ケ之ヲ組合員ニ販賣シタルトキハ非賣捌人販賣犯トシテ處分シ可然哉

專賣局收納部長通牒甲第二七四號 (明治四十二年九月七日)

購買組合カ煙草又ハ鹽ヲ組合員ニ供給スル行爲ニ對スル取扱方ハ左ノ區別ニ依リ處理相成可然依命

- 一 購買組合カ煙草ヲ煙草小賣人ヨリ定價ヲ以テ購入シ更ニ之ヲ定價ニテ組合員ニ供給スルハ實質上分配ニ過キサルヲ以テ煙草專賣法第二十二條ニ所謂販賣犯トシテ處分スヘカラス
- 二 購買組合カ鹽ヲ賣捌人ヨリ購入シ更ニ之ヲ購入價格又ハ其以下ニテ組合員ニ供給スルハ實質上分配ニ過キサルヲ以テ鹽專賣法第十七條ノ二ニ所謂販賣犯トシテ處分スヘカラス

共犯者ニ科スヘキ追徴金ハ從來煙草鹽專賣法各其ノ徵收方法ヲ異ニスル爲取扱上統一ノ必要ヲ認メ明治四十二年十月二十日局議ヲ以テ各種專賣法ノ犯則者ニ科スヘキ追徴ハ沒收ニ換ハル處分ニシテ沒收ニ均シキ效果ヲ生セシムヘキモノナルヲ以テ數人共犯ノ場合ニ於テハ共犯者ノ全員ヨリ全部ノ金額ヲ徵收スルコトニ決定シ同時ニ其ノ取扱方ニ付左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長通牒甲第三一二二號 (明治四十二年十月二十一日)

共犯者ニ科スヘキ追徴金ハ從來煙草、鹽專賣法其ノ徵收方法ヲ異ニシ取扱上適當ナラザリシヲ以テ今般局議ヲ以テ兩者トモ同一ノ方法ニ決定相成候處同局議ニ全員ヨリ全部ノ金額ヲ徵收スルトハ共犯者各自ヨリ各別ニ全部ノ金額ヲ徵收スルニモアラス亦平等ノ割合ヲ以テ分擔セシムルモノニモアラス共犯者ノ全員共同ニテ全部ノ金額ヲ納付セシムルノ意ナリ從テ共犯者ノ一名又ハ數名ヨリ全部ノ金額ヲ納付スル迄ハ尙全員ニ全部ノ納付義務アリ故ニ一部ヲ納付スルモノアルモ同時履行ノ場合ノ外通告ノ履行アリタルモノト云フヲ得ス之ニ反シ一名又ハ數名ヨリ全部ノ金額ヲ納付スルトキハ他ノ共犯者ヨリ徵收スルヲ得サルモノナリ依テ通告書ニハ共同納付方ヲ明記(例令ハ追徴金ニ相當スル金額ハ何某何某共同シテ納付スヘシト記スルノ類)スルコトニ取扱相成度

刑法第五十四條及第五十五條ヲ專賣法ニ適用スルコトニ左ノ如ク局議ヲ以テ決定シタリ

局議決定 (明治四十二年十一月八日)

刑法第五十四條及第五十五條ハ併合罪章中ノ規定ナレトモ一罪ノ處分ニ關スルモノナルヲ以テ刑法施行法第二十二條ニ所謂刑法中其ノ規定ニ相當スル規
定ニ非ス從テ煙草專賣法第六十四條鹽專賣法第三十五條樟腦專賣法第二十條等ニヨリ專賣法上其ノ適用ヲ排除セラルルモノニ非ス

密賣鹽ノ追徴金額算定方ニ付撫養專賣支局長ノ照會ニ對シ明治四十二年十一月左ノ如ク回答シタリ

- 一 包裝鹽ニ在リテハ其ノ包裝ニシテ政府ニ收納スヘキ包裝ノ種類ナルトキハ百斤當賠償金額ニ其ノ種類ニ應シ包裝費竝一圓四十八錢ヲ加算シ五分ヲ低減シタル金額
- 二 無包裝鹽ニ在リテハ鹽百斤當賠償金額ヨリ六錢ヲ低減シ一圓四十八錢ヲ加算シ五分ヲ低減

減シタル金額トス

犯則處分ニ關シ規定ノ標準ニ依ルトキハ處分峻嚴ニ失シ而モ之ヲ處分猶豫ニ付スルハ亦寬大ニ過ルモノト認ムル事件ハ其ノ時々專賣局ノ認可ヲ經テ處分スヘキ旨左ノ如ク東京專賣支局長ノ伺ニ對シ依命回答シタリ

東京專賣支局長稟申監第八七七九號 (明治四十二年十一月三十日)

曩ニ各犯則事件ニ付具體的ニ科スヘキ罰金額ノ算定標準相定メラレテ以來該標準ニ據リ處分シ來リ候處右ハ主トシテ犯則ニ係ル物件ノ數量ヲ基本トシテ制定セラレ或ル特別ノ場合ニ限リ狹少ナル範圍内ニ於テノミ之ヲ増減スルコトヲ得ルニ過キサルヲ以テ犯情ノ如何ニ依リ斟酌ヲ加フルノ餘地ナキニ依リ時々甚タシク嚴酷ニ失スト認ムヘキモノアリ而カモ之ヲ處分猶豫ニ付スルハ亦頗ル寬容ニ過クルノ嫌アルカ如キ事案ニ付之レニ適應スル處罰ヲ爲スコト能ハサルハ極メテ不便ナルノミナラス裁判所ニ於テモ近時財政上ノ犯罪ニ付物件數ノ多寡ニ係ハラズ普通犯罪ト等シク主トシテ犯人ノ主觀的事情ニ重キヲ措キ罰金額ヲ決定スルノ傾向ヲ生シ來リ彼是權衡ヲ失スル現象ヲ呈スルノ虞レモ有之候ニ付大體ニ於テ右ノ標準ニ據ルヘキコトトナシ特殊ノ事情ヲ認ムル犯則事件ニ付テハ標準額ニ關セス支局ニ於テ適當ト信スヘキ罰金額ヲ決定シ得ヘキコトニ豫メ御承認相成度

追テ今一、二實例ヲ摘示セハ煙草小賣人ニ於テ法ノ不知ニ原キ價格一千二百圓餘ニ相當スル刻煙草ノ包裹ヲ開披シ無證票トシテ販賣シタルモノノ如キ何等犯狀ノ惡ムヘキ點ナキニ其ノ數量ノ多キ事ヲ以テ最高額一千圓ヲ科セサルヘカラス又煙草耕作人中途耕作ヲ廢止シタル場合ニ於テ第三者其ノ耕作名義ヲ借受ケ私カニ七千本餘ノ煙草ヲ耕作シタルモノノ如キ等シク一般的ノ標準ニ據ルハ頗ル膠柱ノ嫌アリ罪形其ノ宜キヲ得サルモノト認ムルニ足ルヘキ適切ナル例證ト存シ候ニ付御參考マテニ申添候

專賣局收納部長依命回答甲第三五七五號 (明治四十二年十二月十四日)

規定ノ標準ニ依ルトキハ處分峻嚴ニ失シ而カモ處分猶豫ニ付スルハ亦寬大ニ過ルト認ムル事件ハ其ノ時々本局ノ認可ヲ經テ處分相成度但シ本稟申追書ニ記載相成候事件ニ對シテハ特ニ貴局ニ於テ適當ニ罰金額ヲ定メ處分相成可然候

刑法第五十四條ニ該當スル犯罪ハ併合罪ニ非ストシ局議決定ノ上其ノ取扱方ニ關シ左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長通牒甲第三六五六號 (明治四十二年十二月二十三日)

刑法第五十四條ニ該當スル犯罪ハ併合罪ニアラサル旨令般局議決定相成候ニ付テハ該犯則ニ對スル犯目ノ記載方ハ重キ罪名ニ依ル若シ重キ罪名カ專賣法以外ノ犯罪ナルトキハ專賣法ノ罪名ニ依ル尙亦重キ罪ニ沒收ナク輕キ罪ニヨリ沒收スル場合及重キ罪名カ專賣法以外ナル爲輕キ犯目ニ依ル場合等ニハ犯目ノ下ニ括弧ヲ劃シ何罪ト競合又ハ何罪ノ手段結果ト記スルコトニ御取扱相成度

追テ二件以上同一犯目ニ當ル事件ヲ統計スル場合ニ於テ其ノ内刑法第五十四條ニ該當スル事件ト否ラサル事件トアルトキハ全然別行ニ記載シ其ノ區別ヲ明カニスル様御注意相成度爲念

政府ノ賣渡ササル鹽知情讓受犯ヲ檢舉シ審理中犯則者死亡ノ結果公訴權消滅シタル場合差押ニ

係ル鹽ハ如何ニ處理スヘキヤ尾道專賣支局長ノ請訓ニ對シ右ハ當然政府ノ所有ニ歸スルヲ以テ該鹽ハ鹽收納賣渡事務取扱手續第十六條ニ依リ雜受トシテ受入ノ手續ヲ爲スヘキ旨明治四十二年十二月指示シタリ

鹽製造者納付前ノ鹽ヲ鹽專賣法施行細則第二十三條ノ検査ヲ受ケスシテ恣ニ自家用鹽ト稱シ家宅ニ運搬シテ所持シタルモノノ處分方ニ付左ノ如ク仙臺專賣支局長ニ回示シタリ

仙臺專賣支局長照會事第四九六八號 (明治四十二年十二月三日)

管内中村出張所屬宮城縣互理郡逢隈村荒木仲平ハ鹽製造業者ニシテ其同居ノ家族荒木留吉ハ右業務ニ從事中自己製造ニ係ル政府ニ納付前ノ鹽八十斤ヲ恣ニ自家用鹽ト稱シ鹽專賣法施行細則第二十三條ノ手續ヲ爲サス家宅ニ運搬不正ニ所持シタルハ鹽專賣法第五條ニ違反セル行爲ナルヲ以テ同法第三十七條適用、同第二十五條ニ依リ通告處分ヲ爲シタルニ法定ノ期間内ニ通告ヲ履行セサルヲ以テ所轄仙臺地方裁判所檢察ニ告發ヲ爲シタル處當該檢察ハ鹽製造者ノ自家用鹽ヲ所持シ得ルハ法第五條ノ認ムル處ナルモ之カ制限數量及申告ノ義務ハ何等本法ニ明文ナク又此レ等ノ細則の規定ハ別ニ命令ヲ以テ定ムトノ文字ナキニ於テハ施行細則中自家用鹽ニ關スル事項ハ唯注意的條文ニ止マリ之レヲ以テ本法第五條ヲ制限スルコト能ハス苟モ眞ニ自家用ノ目的ヲ以テ鹽ヲ搬出シ之ヲ所持スルモノニ對シ單ニ其ノ申告義務ヲ怠リ検査ヲ受ケサルカ爲メニ直ニ不正鹽ヲ所持ト斷スルコト能ハストシテ不起訴處分ニ附セラレタリ然ルニ從來當局ノ解釋ハ全然之レト相異シ申告義務ヲ怠リ検査ヲ受ケサルモノハ即チ不正鹽ヲ所持スルモノナリトシ通告致シ來リ候ニ付小官親數檢事正ニ面議シ協議的ニ犯則ノ實況及法ノ精神ヲ説明シ之ヲ處罰スルニ非サレハ取締ノ目的ヲ達シ難キ理由ヲ詳悉シタルモ當初ノ主張ヲ固守シテ止マズ(事實之等ハ不正鹽ヲ所持者ナリ)今之等ノ行爲ヲ檢事所論ノ如ク不問ニ附センカ製鹽者ハ擧ケテ自己製造鹽ノ大部分ヲ自家用ニ藉口シ不正ニ處分スルモノ續出シ其ノ結果法ノ目的ヲ貫徹スル能ハサルコトト可相成ハ勿論事業上甚タ憂フヘキコトト思料致候ニ付一應實見承知致度

右及照會候也

—專賣局收納部長回答甲第二九二號 (明治四十三年二月九日)

右御照會ノ件了承依テ本局ヨリ直接大審院檢事總長ニ交渉致候處檢事總長ノ意見モ亦仙臺地方裁判所檢察正ノ意見ト概同一ニ有之候間不起訴處分ハ致方無之義ト存候尤モ本件ニ關シテハ檢事總長ヨリ仙臺地方裁判所檢察正ヘ爲念若シ嫌疑者ニシテ自家用ニ供スルノ眞意ナク從テ鹽專賣法第五條ニ違反スルモノト認メ得ヘキ意思アルニ於テハ起訴致スヘキ様申含メ置クヘシトノコトニ有之候條御了知相成度

刑法第五十四條ヲ專賣法ニ適用スルコトニ局議ノ決定アリタルハ既ニ述ヘタルカ如シ若シ專賣法上ノ犯則カ專賣法以外ノ犯罪ト競合シ手段結果ノ關係ヲ有スルモノノ處分方ニ付テハ前ニ尾道專賣支局長ノ照會ニ對シ刑法上ノ犯罪ニ付テハ直ニ檢事ニ告發ノ手續ヲ爲シ專賣法ノ犯則ニ付テハ通告ノ處分ヲ爲ササルコトニ回答シタルニ重キ罪名ニ觸レタル刑法犯ニ付告發ヲ爲スモ

檢事ニ於テ起訴ノ手續ヲ爲ササルモノハ檢事ニ協商シ單ニ專賣法ノ違反トシ通告處分ヲ爲シ妨ケナキコトニ更ニ左ノ如ク通牒シタリ

尾道專賣支局長照會事第一八三號 (明治四十三年一月十九日)

專賣法上ノ犯則カ專賣法以外ノ犯罪ト競合シタル場合ノ處分方ニ付客年十二月二十八日事第四三七七號ヲ以テ請訓ニ對シ本月十四日甲第六四號ヲ以テ御指令ノ趣了承致候處當地方ニ於テ最モ多ク行ハルル犯則ハ鹽製造業者ノ傭人等カ政府ニ納付スヘキ鹽百斤以內ヲ竊カニ取出シテ之ヲ消費シ又ハ他ノ物品ト交換シテ共同飲食ノ資ニ供スル等其ノ所犯輕微ノモノナルニ依リ竊盜ヲ以テ重キ罪名ニ觸ルルモノトシ告發ヲナスモ斯ル犯情ニ對シテハ檢事ニ於テ起訴ノ手續ヲ爲ササルコト往々有之趣然ルニ若シ此儘ニシテ放任セムカ今後此種ノ犯罪續出シ取締上痛心ニ堪ヘサル義ニ付豫メ所轄檢事ニ協商シ重キ刑法上ノ罪名ニ對シ檢事ニ於テ起訴ヲ爲ササルモノハ單ニ專賣法ノ違反トシ通告處分ヲ爲シ妨ケ無之哉

專賣局收納部長回答甲第四三八號 (明治四十三年二月二十五日)

見込ノ通取扱相成可然 右依命

專賣局員カ專賣事業上又ハ之ニ關聯シテ裁判所又ハ檢事ヨリ證人參考人又ハ鑑定人トシテ召喚セラレ若ハ搜查處分其ノ他ノ爲意見ヲ述フルコトヲ求メラレタルトキ其ノ證言鑑定等ニ關スル心得方ニ付專賣局長官ハ左ノ如ク示達シタリ

專賣局長官達第四七八號 (明治四十三年三月四日)

- 一 支部局長又ハ支署長ハ自己又ハ所屬員カ專賣事業上又ハ之ニ關聯シテ裁判所又ハ檢事ヨリ證人參考人又ハ鑑定人トシテ召喚セラレ若ハ搜查處分其ノ他ノ爲意見ヲ述フルコトヲ求メラレタルトキハ當該事件ノ告發ヲ爲シタル專賣官署又ハ利害關係アル專賣官署ニ就キ打合ヲ爲シ又ハ之ヲ爲サシメ事件ノ内容ヲ詳ニシタル上之ニ應シ又ハ應セシムヘシ但シ打合ノ違ナキトキハ此ノ限りニ在ラス
- 二 支部局長又ハ支署長ハ專賣事業上又ハ之ニ關聯シテ裁判所又ハ檢事ヨリ證人參考人又ハ鑑定人若ハ搜查處分其ノ他ノ爲意見ヲ述フヘキ人ヲ選定シ差出方ノ要求アリタル場合ノ處理方ハ前項ヲ準用ス

三 支部局長又ハ支署長前二項ノ場合ニ於テ打合ヲ爲スヲ以テ專賣事業上障得アリト認ムル
トキハ之ヲ爲ササルコトヲ得

四 第一項ニ依リ證言シ鑑定シ又ハ意見ヲ述ヘタル者ハ速ニ其ノ問答ノ要領書又ハ鑑定書寫
ヲ添ヘ其ノ狀況ヲ所屬支部局長又ハ本局直屬支署長ニ報告スヘシ但シ支部局所屬ノ支署
所屬員ハ支署長ヲ經由スルヲ要ス

五 支部局長及本局直屬支署長ハ第一項ニ依リ自己又ハ所屬員ニ於テ證言シ鑑定シ又ハ意見
ヲ述ヘタル事項ニ關シテハ問答ノ要領書又ハ鑑定書寫ヲ添ヘ其ノ狀況ヲ速ニ本局ニ報告
シ同時ニ當該事件告發專賣官署又ハ利害關係アル專賣官署ニ通報スヘシ但シ第一項但書
ニ依リタル事件ハ報告書、通報書ニ第三項ニ依リタル事件ハ報告書ニ其ノ事由ノ附記ヲ要
ス

六 第三項ニ記載シタル事由アル事件ハ前項ノ通報ヲナササルコトヲ得

專賣局收納部長通牒甲第四七八號ノ二 (明治四十三年三月四日)

專賣取締ハ專賣事業ノ維持上缺クヘカラサル手段ナレハ苟モ職ヲ斯業ニ奉スル者ハ或ル取締上ノ事件ニ直接關係アルト否トヲ問ハズ證人、鑑定人其他名
義ノ如何ニ拘ラス裁判所又ハ檢事ノ求ニ應シ意見ヲ述フル場合ハ事ヲ曲ケサル限り取締上ノ障得トナラサル様答辯スヘキハ當然ノ義ナルモ事件ノ内容ヲ
詳カニセス漫然之ニ應スルトキハ不知不識ノ間世人ヲシテ取締上ノ方針ヲ疑フカ如キ答辯ヲ爲スコトナシトセス斯クテハ本局ノ威信ニ關シ頗ル遺憾ノ次
第二付前以テ關係官署間ニ於テ意見ヲ交換シ充分意思ノ疏通ヲ圖リタル後對應スルトキハ右ノ目的ニ一致スルヲ得ヘキモノト爲シ本日甲第四七八號ヲ以
テ達セラレタル次第ニ有之候條右ノ趣旨ヲ體シ各機關共同一致苟モ一定ノ事項ニ屬シ專賣局内ヨリ發表スル意見カニ二様ニ出ツル如キ失態無之様御注意
相成候

尙甲第四七八號達ノ趣旨ハ右ノ外事苟モ專賣事業ニ關係アル以上ハ之ト同様ノ注意ヲ以テ御取扱相成度

政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓受ケ更ニ之ヲ他ニ讓渡シタル者ニ對スル處分上刑法第五十四條ノ適
用方ニ付左ノ如ク尾道專賣支局長ニ回答シタリ

尾道專賣支局長照會事第七六六號 (明治四十三年三月十八日)

政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓受ケ更ニ之ヲ他ニ讓渡シタル者ノ處分方ニ付テハ明治四十一年六月八日元撫養收納所長照會ニ對シ御回答ノ旨趣ニ依リ取扱ヒ

來り候處刑法施行後ニ在リテハ同法第五十四條ニ依リ其ノ犯情ニヨリ讓受ハ讓渡ノ手段ナリトシ又ハ讓渡ハ讓受ノ結果トシ一罪ヲ以テ處分スヘキ義ニ候
哉

專賣局收納部長回答甲第六九四號（明治四十三年三月二十九日）

讓受ハ次ノ犯罪（其ノ鹽ヲ所持シ買入シ又ハ消費スル等）ノ總テニ對シテ手段タルヲ得ヘク必スシモ讓渡ニ對スル普通ノ手段トノミ云フヘカラス從テ讓渡
シモ亦讓受ノ當然ノ結果ト云フヲ得サルヘキニ依リ讓渡讓受ヲ概括シテ總テ一罪ナリト云フヲ得ス犯罪事實ノ如何ニ依リテ決定スヘキ儀ト了知可有之

明治四十三年五月二日專賣局長官達甲第一〇一六號ヲ以テ專賣取締規程中告發書ノ様式ヲ改正
シタリ要ハ告發ノ理由及參考事項ヲ記載シ告發ノ目的ヲ貫徹セシムルニ在リ改正規程ハ第一節
ニ掲ケアルヲ以テ省略ス

鹽小賣人ノ帳簿不調製又記帳ヲ怠リタルモノノ處分方ニ付神戸專賣支局長ノ照會ニ對シ左ノ如
ク依命回答シタリ

神戸專賣支局長稟申監第二三五二號（明治四十三年十一月二十八日）

鹽小賣人帳簿不調製若ハ怠記ノ犯則ニ付テハ從來賣捌人制度實施後日淺ク之ニ關スル法規ノ知了モ周ネカラサルヘキヲ慮リ之レカ處分ハ可成寬假シ（特
種事情アルモノハ格別）一面出來得ル限リ取締ノ序ヲ以テ指示セシメ以テ一般ノ注意ヲ促カス事ニ努メ來リ候處既ニ實施後約二年半ヲ經過セル現下而モ
再三指示注意ヲ喚起シタルニモ拘ハラス尙ホ且ツ漫然帳簿ヲ調製セス若クハ調製セルモ記載ヲ怠レルモノアリ之レ等ニ對シテハ相當處罰ノ必要ヲ認ムル
儀ニ有之然ルニ帳簿不調製者ノ如キハ實施當初ヨリノ行為ニ係リ取締規程ノ標準ニ依リ算出スル罰金額ハ法條範圍ノ最高額ニ登リ假リニ情狀ノ酌量スヘ
キモノアリテ減料スル場合ト雖モ其三分ノ一ヲ減シ得ルニ止マリ又怠記者ハ實施以來ノ中間日時ニ於テ記帳シ其前後怠記ノ事實アル等之レ亦頗ル高額ニ
登リ小賣人ハ概ネ（殆ント總テカ）主タル他ノ營業ニ附隨セル副業ニシテ其販賣高モ多額ナラス其得ル處ノ利益ノ如キ極メテ僅少且ツ法規上ノ智識モ幼稚
ナルモノ加之所犯事態法中最輕微ナル斯犯ニ對シ此高額ヲ科スルハ頗ル苛酷ニ過クル傾アリ他ノ故意犯トノ權衡ヲモ失セル感有之去リトテ之ヲ處分猶
豫ニ付セムカ上述ノ如キ事情アルモノナルヲ以テ指示事項履行上ニモ影響シ取締上支障尠ナカラサル義ト存候ニ付鹽專賣法第三十二條ノ初犯者ニ對シテ
ハ取締規程ノ標準ニ拘ハラス特ニ支局長限リ法條罰金額ノ最低若クハ適當ト認ムル額ニ於テ處罰方豫メ御承認相仰度左ニ目下檢舉セル事實ノ概要ヲ具シ
此段稟申候也

一四十二年七月一日以降帳簿ノ不調製者ニシテ注意ヲ受ケテカラ其暇力無ツタ爲メニ未タ調製セスニ居リマシタト云ヘルモノ（算出面罰金額三十圓即
チ最高額）

一四十二年十二月十八日以降怠記者ニシテ本年八月十七日當該官吏方注意ヲ促カシ置キタルモノ尙ホ怠記セルモノ（同上九圓）

一四十二年七月一日以降不調製ニシテ四十二年中注意ヲ加ヘタルモノ尙ホ調製セサルモノ（同上三十圓）

一四十二年一月以降怠記者注意ヲ加ヘタルモノ尙ホ怠記セルモノ（同上八圓）

專賣局收納部長回答甲第二九一七號（明治四十三年十二月六日）

鹽小賣人ノ帳簿ノ不調製又ハ記帳ヲ怠リタル犯則ニ對シ之カ處罰ノ必要ヲ認ムルモ取締規程ノ標準ニ依ルトキハ頗ル苛酷ニ過クルノ嫌アリト認ムル場合

ハ初犯者ニ對シテノミ該規程ノ標準ニ拘ラス特ニ支局長限リ法條罰金ノ最低額若ハ適當ト認ムル額ニ於テ處罰相成差支無之 右依命

鹽製造者カ自己製造ニ係ル納付前ノ鹽ヲ鹽專賣法施行細則第二十三條ノ検査ヲ受ケスシテ消費シタルモノノ處分方ニ付東京專賣支局長ノ照會アリ右ニ付テハ處罰スルヲ得ストノ裁判所ノ意見アルコトハ前ニ述ヘタルカ如シト雖若此ノ如ク解スルトキハ專賣取締上大ナル支障アルヲ以テ如上ノ行爲ニ對シテハ消費數量ノ如何ニ拘ラス鹽專賣法第五條違反トシテ相當處分スヘク若シ通告不履行ノ結果告發セムトスルトキハ豫メ當該檢事ニ就キ專賣法ノ精神ヲ説明シ之ヲ處罰スルニ非サレハ取締ノ目的ヲ達シ難キ事由ヲ詳説シ以テ圓滿ニ法ノ目的ヲ貫徹セシムル様明治四十四年二月收納部長ヨリ依命回答シタリ

左記名古屋專賣支局長照會ノ物件ハ鹹水ノ定義ニ該當セサルモノトシテ不問ニ付スルトキハ取締上危險尠カラサルニ依リ專賣權侵害ノ程度ヲ參酌シ相當處分スヘキ旨左ノ如ク回答シタリ

名古屋專賣支局長照會事第四九八一號 (明治四十四年三月三日)

管内神社出張所所轄度會郡濱鄉村ニ於テ本年二月初頃肥料ニ供スルヲ名トシ元製鹽者數名ヨリ鹹土(元製鹽場ニ在リシ土灰鹽分ヲ含ム)約七百俵(量目凡六千三百貫匁)ヲ購入シ内百五十貫匁ヲ原料ニ供シテ之ニ稀薄ナル苦汁ヲ加ヘテ濾過シ鹹水約四石ヲ製造シタル事犯ヲ發見シタリ而シテ該鹹水ハ「ボ」メ二十六度ノ比重ヲ有スルモ直接ニ海水若ハ鹹泉ニ操作ヲ加ヘタルモノニ非サルヲ以テ定義ノ上ニ於テ聊カ要件ヲ缺如セルノ感有之候ヘ共實質ニ於テ製鹽用途ニ供スヘキ鹹水タルヲ失ハサルモノト認メ相當處分ニ付スルノ見込ニ有之候然レトモ右ハ異例ニ屬スルヲ以テ一應貴部ノ御意見御回示相煩度

專賣局收納部長回答甲第六八〇號 (明治四十四年三月二十三日)

鹽ノ製造又ハ鹽ノ代用ニ供スル目的ヲ以テ政府ノ賣渡シタル鹽以外ノモノヲ原料トシ之ニ操作ヲ加ヘ製成シタル液體ニシテ其ノ含有固形分中五十%以上ノ鹽化曹達ヲ含有シ攝氏十五度ニ於テ「ボ」メ一五度以上ノ比重ヲ有スルモノナルトキハ之ヲ鹹水トシテ取扱可相成尤モ鹽ノ代用ニ供スル目的ヲ以テ製造セルモノニテモ食用以外ノ用途等ニ供スルカ爲取締上差支ナシト認ムルモノ例ヘハ固形苦汁、掃寄鹽又ハ鹹土等ヲ溶解シタル液ニ對シ直ニ鹹水トシテ取扱フカ爲失醋ノ嫌有之モノニ付テハ專賣權侵害ノ程度ヲ參酌シ可然御執行相成度 右依命

追テ鹹土ニシテ四十%以上ノ鹽化曹達ヲ含有シタルモノニ對シテハ明治四十三年三月三十日甲第六九二號「ガリ」「コーラ」「イダシカワ」等含鹽物取扱方ニ關スル件通牒ノ趣旨ニ準シ取扱可相成爲念

從犯ノ處分ニ關シ名古屋專賣支局長ヨリ左ノ如キ照會アリ依テ司法省ト協議ノ上從犯減輕モ各種專賣法ニ所謂刑法ノ減輕中ニ包含スルモノト決定シ左ノ如ク依命通牒ニ及ヒタリ

名古屋專賣支局長照會事第五〇九三號 (明治四十四年三月十日)

從來當支局ノ見解トシテハ刑法第六十二、三條ニ係レル從犯減輕ハ法律上絕對的ノモノナルヲ以テ各種(專賣法煙草六十四條鹽三十五條樟腦二十條)刑法減輕中ニハ包含セサルモノト認メ且ツ元名古屋支局管内ニ於ケル各裁判所ノ判例モ相一致セルヲ以テ總テ從犯ニハ正犯ニ科シタル刑ニ對シテ半減シタル額ヲ以テ罰金トナシ通告處分シ來リタルニ元金澤支局管内ノ各裁判所ハ全然反對ノ解釋ヲ採リ減輕ヲ用ヒサルヲ例トスルヲ以テ爲念福井金澤二檢事正ニ面議交渉ヲ遂ケタルモ依然前說ヲ主張シ將來亦該例ニ依ルヘシトノ意見ニ有之候右ノ如ク地方ニ依リ司法官衙ノ見解二途ニ出ツルハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリト雖結局通告處分ヲ維持スル上ニ於テハ止ムヲ得ス自今當支局ニ於テモ此例ニヨリ裁判所ノ管轄區域ニ依リ便宜ニ適用處理ヲ爲ス方却テ便益ナリト思考セラレ候ヘ共事稍異觀ニ屬スルヲ以テ右ニ對スル貴部ノ御意見御回示相煩度候

專賣局收納部長回答甲第九九六號 (明治四十四年四月二十日)

令般司法省ト協議ノ上從犯減輕モ各種專賣法ニ所謂刑法ノ減輕中ニ包含スルモノト決定相成候條右ニ御了知相成度 右依命

鹽元賣捌人ニシテ無指定鹽小賣行爲ヲ爲シタルモノニ對シ微罪猶豫處分ニ附シタルニ猶豫期間中其ノ以前ニ於ケル同一違反行爲アルヲ發見シタルトキ其ノ處分方ニ付左ノ如ク味野專賣支局長ヨリ照會アリ右ノ如キ場合ニ於テハ何種ノ犯行タルトヲ問ハス總テ前後合併ノ罪跡ト猶豫限度トヲ對比シテ相當ノ措置ヲ爲スヘキ旨回答シタリ

味野專賣支局長照會事第一一三號 (明治四十四年五月十八日)

鹽元賣捌人中無指定鹽小賣行爲ヲ爲シタルモノニ微罪猶豫處分ニ附シタルニ猶豫期間中其ノ以前ニ於ケル同一違反行爲アルヲ發見シ調査セシニ前同之ヲ隱蔽シ事實ヲ申立サリシモノニ有之處分猶豫中ノモノ再ヒ犯則ヲ爲シタルトキハ專賣取締規程第百十八條ニ依リ處理スヘキハ勿論ニ有之候處處分猶豫前ニ於ケル行爲ヲ其後ニ於テ發見シタルトキノ取扱方ニ關シテハ現行規程中之レカ明文無之右ハ曩ノ處分猶豫ハ之レヲ取消シ前陳ノ如キモノニ對シテハ此際前後併セ處分通告ヲ爲スヲ至當ト認メラレ候得共何分ノ御垂示相煩度

專賣局收納部長回答甲第一三〇七號 (明治四十四年五月二十四日)

同一犯罪ノ一部ヲ發見シ之カ處分猶豫中更ニ其ノ他ノ部分ヲ發見セル場合ハ何種ノ犯行タルトヲ問ハス總テ前後合併ノ罪跡ト猶豫限度トヲ對比シテ相當ノ措置ヲ爲スヘキ儀ト了知可有之尤モ現行規程ニ於テハ無指定鹽販賣行爲ニ對スル標準ヲ示サス不日追補可相成等ニ有之候ヘ共差當リ右ノ趣旨ニ依リ適宜決定相成可然

專賣法ノ犯則ニ依リ財權侵害ノ程度ハ犯則物件ノ多寡ニ正比例ストノ觀念ニ基キ處分標準ハ主トシテ犯情ノ輕重ヲ犯則物件ノ多寡ニ採リ犯則者ノ意思即チ主觀的方面ニ重キヲ置カサリシ傾アリ新刑法ハ舊來ノ犯罪必罰主義ヨリ轉シテ刑罰ノ目的ヲ再犯豫防及他戒主義ニ重キヲ置キ犯情ノ輕重ハ單ニ客觀的事實ニ依ル犯則ノ結果ノミニ依ラス犯罪者ノ主觀的方面ヲ顧慮シ之ヲ定

ムルノ主義ヲ採用スルニ至レルヲ以テ處分標準ハ專ラ罪刑ノ權衡ヲ得セシムルコトニ適當ニ改正スルノ必要ナルヲ認メ明治四十四年六月專賣取締規程ヲ改正シタリ其ノ改正中犯則處分ニ關スル要點左ノ如シ

- 一 從來非賣捌人鹽販賣及販賣準備犯ニ對スル處分標準ノ規定ナク處分上區々ニ涉ルノ嫌アルヲ以テ右ノ處分標準ヲ新ニ制定シタルコト
 - 二 罰金ノ最低範圍ヲ擴大シ刑罰ノ量定上斟酌ノ餘地アラシメタルコト
 - 三 現行ノ加重程度ハ繁細ニ過クルニ依リ之ヲ擴張變更シ處分上適實ノ裁量ヲ爲スヲ得セシメタルコト
 - 四 現行ノ處分猶豫標準中ニハ鹽、鹹水及含鹽礦物ノ密輸入犯ハ除外セラレアルモ其ノ輕微ナルモノニ付テハ他ノ犯則ト等シク猶豫制度ヲ設クルノ適當ナルヲ認メ之ヲ新定シ又相續承繼届出怠無許可承繼以下ノ犯則ニ付テモ從來一定ノ標準ヲ示ササリシニ依リ輕微ナル犯罪ヲ除クノ外ハ總テ處分猶豫標準ヲ制定シタルコト
 - 五 取扱ノ便宜上犯則處分標準ト猶豫標準トヲ一表ニ改メタルコト
- 專賣局長官達甲第一四二四號 (明治四十四年六月十九日)

(省略 第十一章 第二節 參看)

非賣捌人鹽販賣及鹽製造者又ハ賣捌人帳簿詐記犯ニ對スル處分標準ノ販賣價格定メ方ニ付鹿兒島專賣支局長ノ伺ニ對シ左ノ如ク回答シタリ

鹿兒島專賣支局長照會監第四三八九號 (明治四十四年七月二十日)
改正犯則者處分標準表中左ノ疑義有之候條何分ノ御回示煩シ度

非賣捌人鹽販賣及製造者、賣捌人帳簿詐記犯ノ摘要欄ニ所謂販賣價格トハ現實ニ販賣シタル價格ヲ云フヤ又ハ法第十八條ノ賣渡定價ヲ云フヤ若シ前者ナリトセハ未販賣鹽ニ付テハ價格ハ如何ニシテ定ムヘキヤ後者ナリトセハ產地ノ不明ナル場合往々可有之右ノ場合ハ如何ニスヘキヤ

專賣局收納部長回答甲第一八七九號（明治四十四年八月三日）
前段見込ノ通り取扱ヒ未販賣鹽ノ價格ハ其ノ地ニ於ケル普通販賣價格ニ比準シテ之ヲ定ムヘキ儀ト了知相成度

沒收ニ該當スル物件カ粉末又ハ液體ニシテ沒收ニ該當セサル他ノ同質物件ト混合又ハ化合シテ分別不能トナリタル場合ニ於ケル沒收該當品ノ通告處分方ニ付左ノ如ク阪出專賣支局長ノ照會ニ對シ回答シタリ

阪出專賣支局長照會事發甲第一四〇一號（明治四十四年七月十八日）
沒收ニ該當スル物件中粉末又ハ液體等ニシテ沒收ニ該當セサル他ノ同質物件ト混合又ハ化合シ之ヲ撰ミ分クル事ヲ得サル場合ニ於ケル沒收該當品ノ通告處分方如何取計可然ヤ

- 一 沒收ニ該當スル密製造煙草ト沒收ニ該當セサル官製煙草ト混合シ之カ區分ヲ爲ス能ハサル場合
- 二 同上政府ノ賣渡ササル鹽ニ政府ヨリ賣渡シタル鹽ヲ混合シ之レカ區分ヲ爲ス能ハサル場合
- 三 同上政府ノ許可ヲ得シテ製造シタル鹹水ニ許可ヲ得テ製造シタル鹹水ヲ混合シタル場合

專賣局收納部長回答甲第一九〇三號（明治四十四年八月八日）

- 沒收ニ該當スル物件カ粉末又ハ液體等ニシテ沒收スルヲ得サル他ノ同質物ト混合又ハ化合シテ分別不能トナリタルトキハ左記各項ニ依リ取扱相成度
- 一 種類品質同一ナルトキハ數量的ニ分割シテ其ノ沒收ニ該當スル數量ヲ確定シ之ヲ沒收スルコト
 - 二 種類品質同一ナルモ沒收スヘキ數量不明トキ又ハ數量明ナルモ種類品質同一ナラサルトキハ沒收シ能ハサルコト
 - 三 前項ノ場合ハ一種ノ消費ト認メ沒收ニ相當スル數量ニ對スル價格ヲ追徴スルコト但シ行爲ニ依ラサル自然ノ混合又ハ化合若ハ數量不明ノ場合ハ追徴モ亦不能ナリ
 - 四 前項但書ノ場合其ノ他沒收ニ該當スル物ノ混合又ハ化合セル爲沒收不能ノ物件ニシテ監督上必要アル場合ハ煙草專賣法第三十八條、鹽專賣法第二十三條ニ依リ相當取締ヲ爲スコト

鹽製造者ノ製造ニ係ル鹽ニシテ犯則ニ係リ之ヲ微罪不問ニ付シタルモノノ取扱方ニ付撫養專賣支局長ノ照會ニ對シ左ノ如ク回答シタリ

撫養專賣支局長照會撫事第三三九三號（明治四十四年八月五日）

微罪不問ニ付シタル犯則鹽取扱方ニ關シテハ明治四十一年七月十五日尾道收納所長例示請訓ニ對シ同年八月十二日御通牒ハ單ニ尾道收納所長例示ノ場合ノミニ限ラス廣ク犯則者ノ處分ヲ不問ニ付スル場合ニ於テハ其ノ犯則鹽モ亦其ノ儘不問ニ付スルコトニ取扱フヘキ御主旨ト被解候ニ付其ノ犯則者ノ鹽製造者ナルト其以外ナルトヲ論セス右ニ依リ取扱フヘキ義トハ被存候得共尙左記ノ點聊疑義ニ涉リ候ニ付何分ノ御回示相煩度

- 一 鹽製造者ニシテ其ノ納付前ノ鹽ヲ密賣、消費等ノ目的ヲ以テ所持シタルモノヲ法第五條犯トシテ檢舉シタルニ微罪ノ爲メ處分ヲ猶豫シ期間満了シタリ然ルニ其ノ犯則鹽モ亦不問ニ付シタル結果其ノ鹽ハ犯則關係ヲ離レテ鹽製造者ノ製造シタル鹽トナリタルヲ以テ其ノ鹽ハ法第七條ニ依リ收納

スヘキモノニアラサルヤ

二 鹽製造者ノ雇人甲ナル者鹽製造者ノ納付前ノ鹽ヲ無斷ニ持歸リ居タル爲メ法第五條犯トシテ檢舉シタルニ(此場合ハ竊盜犯ト競合ノモノナルモ檢事ト打合ノ結果鹽專賣法犯ノミヲ問擬シタリ) 微罪ノ爲メ處分ヲ猶豫シ期間滿了シタリ然ルニ其ノ犯則鹽ハ甲ノ所有ニアラス 元來鹽製造者ノ所有ニ係ルモノナルカ故ニ之ヲ甲ヨリ鹽製造者ニ返付セシメ法第三十四條ニ依リ鹽製造者ヨリ收納スヘキモノニアラサルヤ

專賣局收納部長回答甲第一九三七號 (明治四十四年八月十二日)

一 見込ノ通

二 便宜甲ヨリ鹽製造者ニ返付セシメタル上其ノ鹽ハ法第七條ニ依リ收納相成可然

政府ノ許可ヲ受ケスシテ他人ノ鹽製造ヲ承繼シタルモノノ處分及其ノ製造鹽ノ取扱方ニ付左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長計理部長依命通牒甲第二二二三號 (明治四十四年十月三日)

政府ノ許可ヲ受ケスシテ他人ノ鹽製造ヲ承繼シタル者被承繼者ノ受ケタル鹽製造許可事項ヲ變更スルコトナク其儘襲用シ鹽ノ製造ヲ爲シタル場合ノ取扱方區々ニ涉リ居候ニ付自今左ノ通御取扱相成度

一 犯則處分

無許可承繼鹽製造者ハ鹽專賣法第十一條第三十條ニ依リ處分スルコト

二 承繼者ノ手ニ現在スル製造鹽ノ取扱方

(イ) 後日無許可承繼鹽製造者ノ申請ニ依リ製鹽承繼ノ許可ヲ與ヘタルトキハ便宜製鹽行為ヲ追認シタルモノト看做シ承繼人ノ名義ヲ以テ鹽專賣法第七條ニ依リ現在製造鹽ヲ收納スルコト

(ロ) 製鹽ノ承繼ヲ許可スルカ爲ニ弊害ヲ後日ニ貽ス虞アルモノニ付テハ狀ヲ具シ一應本局ヘ稟議ヲ要ス

尙無許可鹽製造承繼ニ由リ製造シタル鹽ヲ被承繼人ノ名義ヲ藉リ假裝ノ鹽納付ヲ爲サムトスル者ナキヲ保シ難キニ付收納ノ際深ク注意ヲ拂ヒ收納上ノ錯誤ナキヲ期スルハ勿論無許可鹽製造承繼者ニ付テハ成ルヘク鹽ヲ製造セサル以前ニ於テ之ヲ取締ルコトニ御留意可相成 右依命

專賣法ノ犯罪其ノ他ノ犯罪トカ刑法第五十四條ノ關係ニ立チタル場合ニ於ケル告發方ニ關シ左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長通牒甲第二五六七號 (明治四十四年十一月十三日)

本年十月三日大審院ハ專賣法ノ犯罪ト其ノ他ノ犯罪トカ刑法第五十四條ノ關係ニ立チタル場合ニハ其ノ專賣法違反ノ點ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法第十三條但書第十四條第二項又ハ第十七條ノ告發ナキトキハ檢事ニ於テ起訴スル能ハス縱令起訴スルモ裁判所ハ訴訟條件缺如ノ理由ニヨリ之ヲ審判スル職權ナシトノ趣旨ヲ以テれ第一四八八號同第一四九〇號ノ通判決セリ若シ右ノ如キ場合ニ於テ專賣法違反ノ點ニ對シ通告處分ヲ爲シ犯則者之ヲ履行シタリトセンカ一事不再理ノ原則ニ制セラレ縱令他ノ犯罪重キモ之ヲ處罰スル能ハサルニ至ルヘク斯クテハ刑法第五十四條ノ趣旨ニ反スルヲ以テ此ノ場合ニハ直接告發ノ理由アリヤ否ノ認定權ヲ有スル當該官吏ニ於テ相當調査ヲ爲シ通告セシメテ專賣法違反ト其ノ他ノ犯罪トヲ併セ告發スルコトニ取扱フニ

アラサレハ專賣法ノ犯罪ニ係ル物件ノ沒收又ハ追徴ヲ爲ス能ハサルニ至ルヲ以テ豫メ御注意相成度

微罪處分猶豫者所轄外ニ居住又ハ移轉ノ場合ハ其ノ訓戒監視方ヲ其ノ所轄專賣支局ニ引繼クヘキハ專賣取締規程第一百九條ノ定ムルトコロナルモ期間滿了後ノ不問決定ハ何レノ支局ニ於テ爲スヘキヤ規定中明文ナキノ故ヲ以テ其ノ取扱方ニ付キ茂木專賣支局長ヨリ照會アリ右ハ當初處分ヲ猶豫シタル支局ニ於テ不問ノ決定ヲ爲スヘキモノナルコトヲ明治四十四年十月回示シタリ法違反者處分標準備考ニヨリ猶豫最高限度内ノ者ニ對シ又ハ處分最低範圍ヲ超過シ處罰ノ必要アルトキハ告發書參考事項中ニ其ノ事由ヲ詳記シ檢事起訴ノ參考ニ資スル様取扱フヘキ旨左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長通牒甲第八八六號 (明治四十五年四月十五日)

犯則ニ係ル物件ノ價格カ法違反者處分標準表猶豫最高限度ヲ超過シ且同表備考第四項各號ニ該當セサル者ト雖或程度迄ハ容易ニ起訴ヲ爲ササル檢事有之趣ニ候處右ハ明治四十三年れ第一六二八號大審院判決(當時一厘事件トシテ新聞紙ニ上リタルモノ)以來著シキ様被存候ニ付之カ緩和カ方法ニ關シ檢事總長ニ交渉相成候處同總長ニ於テハ右標準ノ趣旨ニ贊同セラレ今般召集スヘキ司法官會議ノ際會同檢事ニ對シ別紙標準表ヲ交付スルト同時ニ成ルヘク專賣局ノ希望ニ副フ様取計ハルヘキコトニ相成候條自今處分標準備考ニヨリ猶豫最高限度内ノ者ニ對シ又ハ處分最低範圍ヲ超過シ處罰ノ必要アルトキハ告發書參考事項ノ項ニ其ノ事由ヲ詳記シ檢事起訴ノ參考ニ資スル様御取扱相成度(別紙省略ス)

鹽製造者ノ雇人カ竊ニ製造者ノ未納付鹽ヲ持出シ現ニ之ヲ所持セル犯則ノ處分方ニ關シ各所ノ取扱區々ナルニ依リ其ノ所持者ニ對シテハ鹽專賣法第二十五條ヲ適用シ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收セス單ニ法第七條ニ依リ所有者タル鹽製造者ヨリ之ヲ收納スヘキコトニ左ノ如ク依命通牒シタリ

專賣局收納部長依命通牒甲第一〇六六號 (明治四十五年五月十三日)

鹽製造者ノ雇人カ竊ニ製造者ノ未納付鹽ヲ持出シ現ニ之ヲ所持セル犯則ノ處分方ニ關シ各所ノ取扱區々ニ涉レルヤニ關及ヒ居候處右所持者ニ對シテハ法第五條違反トシテ同第二十五條ニ依リ罰金ニ處シ犯罪ニ係ル鹽ハ刑法第八條及第十九條第二項ヲ適用シ所持者ヨリ之ヲ沒收セス(讓渡又ハ消費シタルモノニモアラサルヲ以テ追徴セス)單ニ法第七條ニ依リ所有者タル鹽製造者ヨリ之ヲ收納スルコトニ取扱相成度

鹽專賣法違反事件ニ付差押ニ係ル鹽ニシテ之カ差押ヲ繼續スルトキハ鹽ノ量減ヲ生シ且保管上

ニモ支障少カラサルニ依リ煙草專賣法違反事件差押物件假下渡ノ主旨ニ準據シ相當保證人ヲ立テシメ假下渡ヲ爲スモ差支ナキヤ撫養專賣支局長ヨリ照會アリ然レトモ鹽ハ煙草ト異ナリ腐敗損傷ノ虞ナク又他日必要ヲ生シタル場合ニ於テ同種ノモノヲ差出サシムルコト困難ナルカ故ニ煙草ノ例ニ依リ假下渡ヲ認容スルハ取締上ノ危險アリト認メ假下渡ヲ許ササルコトニ左ノ如ク回答シタリ

撫養專賣支局長照會撫事第一四八〇號 (明治四十五年四月三十日)

鹽專賣法違反事件ニ付差押ニ係ル犯則鹽多量アル場合ト雖モ處分猶豫ニ付スヘキ場合往々有之即鹽無指定販賣行爲ニ於ケル販賣用ニ準備シタルモノノ如キ政府ノ賣渡タル鹽ナルコト明瞭ナルトキ猶豫期間六箇月間其儘之レカ差押ヲ繼續スルトキハ鹽ノ量減ヲ生スルノミナラス之レカ保管上ニモ支障尠カラサルノミナラス處分猶豫ノ主旨ニ添ハサル嫌モ有之候ニ付テハ四十一年一月二十九日甲第四九六號御通牒ニ依リ煙草專賣法違反事件差押物件假下渡ノ主旨ニ準據シ相當保證人ヲ立テシメ假下渡ヲ爲スモ差支無之候哉何分ノ御指示相成度候

專賣局收納部長依命回答甲第一一九號 (明治四十五年五月十三日)

鹽ニ關シテハ明治四十一年一月二十九日甲第四九六號依命通牒ニ準據シ取扱フヘキモノニ無之候ト了知可相成

非賣捌人鹽販賣犯ニテ差押ヲ爲シタル鹽ニシテ處分猶豫トナリ期間滿了後還付ノ結果其ノ所持ニ屬シタル鹽ノ處分方ニ付水戸專賣支局ヨリ照會アリタルニ對シ左ノ如ク回答シタリ

水戸專賣支局長照會事發第八五號 (大正元年八月十四日)
違反者ニ還付シタル鹽ノ處分ニ關シ左記ノ廉疑義ニ涉リ候ニ付何分ノ御回示相煩度

- 一 非賣捌人鹽販賣犯ニテ差押ヲ爲シタル鹽ニシテ處分猶豫トナリ期間滿了後還付ノ結果其所持ニ屬シタル鹽ノ處分ハ賣捌規則第二十二條鹽賣捌人ノ營業廢止若クハ指定ヲ取消サレタル場合ヲ準用シ賣捌人ニ讓渡スルコトヲ得ヘキヤ
- 二 前項讓渡スルコトヲ得ルトセハ品質低下シ且包装著シク損傷シタル場合ハ其ノ讓渡價格及賣捌人ノ販賣價格ハ如何ニ之ヲ算出スヘキモノナルヤ

專賣局販賣部長回答丁第二〇五號 (大正元年八月十九日)

- 一 鹽賣捌規則第二十二條ノ場合ヲ準用スヘキモノニアラサルモ財產處分トシテ一時ニ他ニ讓渡スルハ差支ナシ
- 二 前項ノ讓渡價格ハ品質、包装ノ如何ヲ問ハス双方ノ協定シタル價格ニ依ル
- 三 讓受人カ鹽賣捌人ナル場合其ノ讓受鹽ノ販賣價格ハ普通ノ販賣價格(即元賣捌人ハ販賣官署ヨリ買受ケタル鹽ノ販賣價格ヲ云フ)ニ依ル

司法次官ヨリ事務簡捷ノ趣旨ヲ以テ通告不履行者ニ對スル告發ハ之ヲ猶豫シ專ラ履行督勵方協議アリ之ニ對シ大藏次官ヨリ通告履行ノ見込確實ナル者ニ限り通告履行期間經過後ト雖相當期

間猶豫ノ上努メテ履行方督勵スルコトニ取扱フヘキ旨大正元年八月回答シタルニ付其ノ旨左ノ如ク一般ニ通牒シ右回答ノ趣旨ニ依リ取扱ハシメタリ

專賣局收納部長依命通牒甲第一四八號 (大正元年八月三十日)
今般司法次官ヨリ事務簡捷ノ趣旨ヲ以テ通告不履行者ニ對スル告發ハ六箇月又ハ一年ヲ猶豫シ専ラ履行督勵方協議有之候處之ニ對シ大藏次官ヨリ一年又ハ六箇月ノ猶豫ハ長キニ失スルモ履行ノ見込確實ナル者ニ限り通告履行期間經過後ト雖相當期間猶豫ノ上方メテ履行方督勵スルコトニ取扱フヘキ旨回答相成候條右回答ノ趣旨ニ依リ取扱相成度

鹽製造者ノ雇人ニシテ竊ニ製造者ノ未納付鹽ヲ持出シ之ヲ所持シ居リタルモノノ處分ニ付テハ明治四十五年五月通牒シタルコト前ニ述ヘタル如クナルモ其ノ鹽ニ對スル追徵處分ニ關シ更ニ尾道專賣支局ヨリ照會アリ左ノ如ク回答シタリ

尾道專賣支局長照會事第二七〇二號 (大正元年十月十九日)
明治四十五年五月十三日付甲第一〇六六號鹽製造者ノ雇人ニシテ竊ニ製造者ノ未納付鹽ヲ持出シ之ヲ所持セル場合ノ處分方御通牒ニ付左記ノ點聊疑義相生シ候

鹽專賣法其ノ他ニ規定サレ居ル追徵ナルモノハ獨立ノ刑罰ニアラスシテ沒收ナル刑罰ノ不能ニ歸シタル場合ニ行ハルル代用的執行方法ニ過キス從テ煙草專賣法第六十一條後段ノ如キ特別ノ規定ナキ限りハ前提ニ於テ沒收刑ヲ科シ得サルモノハ亦追徵處分ニモ付シ得サル義ト思考セラレ製造場ノ雇人カ竊ニ製造者ノ未納付鹽ヲ持出シ所持ヨリ一步ヲ進メテ已ニ其ノ一部若クハ全部ヲ讓渡シ消費シタル場合ノ如キハ其ノ鹽カ根本ニ於テ沒收ニ係ラサルモノナルヲ以テ之カ價格ノ追徵ヲモ爲シ得サルモノト認ム尙追徵スヘキモノニアラストセハ此ノ解釋ハ移シテ其ノ鹽ヲ數人ニ輾轉シタル場合ニモ適用シ各讓渡人竝讓受人ニ對シテモ亦追徵處分ハ之ヲ爲シ得ス其ノ所持ニ係ル鹽モ沒收シ得ストノ結論ヲ爲ササルヘカラサル如キモ此ノ解釋タル沒收刑追徵刑ノ趣旨ヲ沒却スル處アリ果シテ如何哉爲念御意見相伺置候

專賣局收納部長回答甲第四八二號 (大正元年十月二十三日)
鹽專賣法ハ煙草專賣法第六十一條後段ノ如キ規定ナキヲ以テ雇人カ竊ニ製造者ノ未納付鹽ヲ持出シ其ノ儘之ヲ所持スル者ニ對シテハ追徵ヲ爲ス能ハスト雖若讓渡又ハ消費シタル場合ニ於テハ鹽專賣法第二十五條ノ規定ニ依リ相當金額ヲ徵收スヘキモノニシテ其ノ鹽カ犯人以外ノ者ニ屬スル如キ特種ノ關係アルカ爲何等追徵ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ケサル義ト存セラレ候

差押物件還付方ニ關シ東京專賣支局長ヨリノ稟申ニ對シ左ノ如ク依命回答シタリ

東京專賣支局長稟申第四四九號 (大正元年十月十六日)
犯則事件ニ付差押タル物件ニシテ事件結了後之レカ還付ヲ要スル場合ニ於テハ從來出張員ノ序ヲ以テ實地ニ就キ處理セシメ來リ候處山間僻遠ノ地又ハ其ノ他ノ事情ニ依リ再ヒ出張ノ便宜ナキカ若シクハ近ク出張ノ豫定ナキ方面ニ對シ差押品解除ノ爲ニノミ特ニ監視員ヲ出張セシムルカ如キハ人練リ都合上往々至難ノ場合アルノミナラス經費ノ點ニ於テモ亦之レヲ許ササル事情モ有之サリトテ既ニ處分完了シタル事件ニ付長ク差押ノ狀態ヲ繼續スルハ物件ノ

種類ニヨリ當事者ノ苦痛ヲ感スルノ度殆ント刑罰ニモ等シキ場合モ有之候ニ付斯クノ如キ出張ノ便宜ヲ有セサル地方ニ對シテハ吏員ヲ特派セシメスシテ
差押解除ノ通知書ヲ送達シ以テ還付ノ手續ヲ了スルコトニ致度候ニ付御承認相成度

專賣局收納部長依命通牒甲第五三七號 (大正元年十一月二日)

差押物件還附方ニ關シ稟申ノ次第モ有之候得共右ハ警察官吏又ハ市町村吏ニ囑託シ封印ヲ除去シ保管證ト共ニ差押物件ヲ還付シ領收證ヲ徴シ送付セシム
ルコトニ取扱相成度 右依命

追テ本文囑託ノ必要アリトスル地方ノ郡市長及警察署長等ニハ口頭又ハ書面ヲ以テ豫メ依頼シ其ノ承諾ヲ得置カルル方宜シカルヘシト存候

專賣法ノ犯則處分ヲ爲スニ方リ大審院判例ニ準據スルノ件ニ付東京專賣支局長ヨリ稟申アリタ
ルニ對シ左ノ如ク依命回答シタリ

東京專賣支局長稟申監發第五九四號 (大正元年十一月十四日)

近來大審院判例ヲ局報ニ登載セララルルコト相成候處右ハ犯則事件ノ擬律ニ關シテハ絶對ニ之レニ據リ處理スヘシトノ御趣旨ナルヤ將タ又支局ノ見解ニ
依リ其ノ正當ナリト認ムル判例ニ付テハ固ヨリ之レニ準據シ然ラサルモノニ付テハ必ラスシモ之レニ據ラサルモ敢テ差支ナキ義ニ候哉若シ前段ノ御趣旨
ナリトセハ新ニ局報ニ登載セラレタル判例ニシテ既存ノ局義決定又ハ指令等ノ趣旨ト牴觸スルトキハ何等經伺ノ手續ヲ要セスシテ直ニ判例ノ趣旨ニ依リ
處理シ可然哉各支部局ノ伺指令等ニ關シテハ一般ノ之レニ準據スヘキ旨客年二月二十三日付各部長通牒ノ次第モ有之候ヘ共大審院判例ニ付テハ此義明
カナラサル様被存候ニ付何分ノ御指揮相成度此段及稟申候也

專賣局收納部長回答甲第七〇九號 (大正元年十二月三日)

犯則處分ヲ爲ス場合ニ大審院ノ判例存スル問題ハ通告モ其ノ趣旨ニ據リ之ヲ爲スヲ相當ト存候從テ本局ノ局議又ハ指令等ニシテ特ニ或判例ヲ摘示シ其ノ
趣旨ニ據ラサルコトヲ指示シタルトキ又ハ大審院判例後ノ發表ニ係ルトキ若ハ支局ニ於テ或判例ニ反スル處分ヲ必要トシ本局ノ承認ヲ得タルトキ等特ニ
判例ニ據ラサルノ意ナルコトヲ知リ得ル場合ノ外ハ大審院判例ノ趣旨ニ據ル義ト御了知相成度 右依命

刑法第五十五條ノ同一ノ罪名トハ刑罰規定ニ掲ケタル罪名ヲ同フスル同種ノ行爲ノ意義ナルカ
故ニ犯罪行爲ノ名稱ヲ異ニシ且罪名ヲ異ニスルモノニ對シテハ刑法第五十五條ヲ適用シ得ヘキ
モノニ非ストシニ春專賣支局ノ照會ニ係ル左記設例ニ對シ左ノ如ク回答シタリ

專賣局收納部長通牒甲第三一二號 (大正二年二月十九日)

△ 三春支局長

左記犯則事件ハ各事件毎ニ連續犯ヲ構成スルヤ否ヤニ付眞ニ御問合相成候處右ハ何レモ意思ノ單一ヲ認ムヘキ點ナキノミナラス罪名モ亦異ナルモノニシ
テ連續犯タルノ要件ヲ缺クモノト被存候條刑法第五十五條ヲ適用スル能ハサル義ト御了知相成度

第一事件 明治四十年十月下旬ヨリ同四十一年五月十五日迄自己耕作ニ係ル政府ニ納付スヘキ明治四十年產葉煙草二貫匁ヲ消費シ及同四十一年三月二十

七日同上葉煙草七百匁ヲ隱蔽ス(消費ト隱蔽トハ同一ノ罪名ナリヤ)

第二事件 明治四十二年十月(日不詳)ヨリ同四十二年四月十七日迄自己耕作ニ係ル明治四十二年産葉煙草二百匁ヲ隱蔽シ及同四十三年四月十五日納付期日ニ正當ノ事由ナクシテ同上葉煙草四百四十五匁ヲ納付セス(隱蔽ト意納トハ同一ノ罪名ナリヤ)

刑法第五十四條第一項後段ノ規定ヲ適用スルニハ手段結果ノ兩行爲カ單一ノ意思ニ依ルヲ要スルヤ將タ各行爲毎ニ別箇ノ行爲ニ依ルモ差支ナキヤ其ノ解釋ニ付司法省ニ問合セタルニ兩所爲ノ間ニ密接ナル因果關係ヲ有セサルニ於テハ各獨立ノ一罪ヲ構成シ刑法第五十四條第一項後段ヲ適用スヘキモノニ非スト左ノ如ク回答アリタリ

專賣局長官照會甲第三八九號 (大正二年三月四日)

刑法第五十四條第一項後段ノ規定ヲ適用スルニハ手段結果ノ兩行爲カ單一ノ意思ニ依ルヲ要スルヤ將タ各行爲毎ニ別箇ノ意思ニ依ルモ尙差支ナキヤ

參考 本問ノ要ハ政府ニ納付スヘキ葉煙草ヲ自家消費ノ目的ヲ以テ讓受ケタル者其ノ後意思ヲ變シ他ニ讓渡シタル場合ハ讓受ト讓渡トヲ合一シテ一罪トスヘキモノナリヤ又ハ讓受ト讓渡トヲ各獨立ノ一罪トスヘキモノナリヤニ在リ(煙草專賣法第四十八條參照)

明治四十二年第一八一四號判決ニ依レハ大審院ハ意思ノ如何ヲ問ハサル趣旨ナル様思考セラレサルニアラサルモ稍不明ノ感ナシトセス爲念附

記ス

右差掛リタル事件解決上必要ニ付貴省ノ御意見承知致度候ニ付御回示煩度此段及照會候也

司法省刑事局長回答司法省刑事甲第四三號 (大正二年三月七日)

本月四日附甲第三八九號ヲ以テ刑法第五十四條第一項後段適用ノ件ニ付御問合ノ趣領承右設例ノ場合ニ於テハ葉煙草ノ讓渡トノ兩所爲ノ間ニ何等密接ナル因果關係ヲ有スルモノニ非サルヲ以テ各獨立ノ一罪ヲ構成シ刑法第五十四條第一項後段ヲ適用スヘキモノニアラスト致思考候此段及回答候也

犯則事件ニ付差押ヘタル物件ニシテ還付ヲ要スルモ其ノ受領權利者所在不明ノ場合ニ於ケル處理方ニ付左ノ如ク定メ大正二年四月依命通牒ニ及ヒタリ

專賣局收納部長依命通牒甲第六三三號 (大正二年四月四日)

犯則事件ニ付差押タル物件ニシテ還付ヲ要スルモ受領權利者所在不明ノ爲還付スルコト能ハサルモノ漸次増加スルトキハ保管上非常ノ手數ヲ要スルノミナラス自然置場ニモ差支アル場合到來スヘク被存候ニ付之ヲ防止スル爲一應左記手續ニ依リ其ノ處分ヲ結了シ置クコトニ御取扱相成度 右依命

追テ本文取扱方ハ事情止ムヲ得サル場合ノ處分ニシテ斯ル取扱ニ屬スル物件ノ多キヲ欲セサルコト勿論ナレハ差押ニ際シ還付ノ希望ナカルヘシト思料スヘキ物件ハ拋棄スルヤ否ヤヲ確メ其ノ拋棄スルモノハ之ヲ記録ニ明ニシ置キ他日左ニ示ス如キ手數ヲ釀スコトナキ様注意相成度

一 差押物件還付ノ決定ヲ爲シタルトキハ可及的ノ力受領權利者ノ所在ヲ調査シ還付方取計ヲハ勿論ナリト雖若其ノ所在不明ノトキハ還付決定ノ日ヨリ一年間該物件ヲ保管スルコト

二 前項ノ期間經過スルモ還付ノ見込ナキ物件ニ付テハ新聞紙又ハ揭示場等ニ左ノ事項ヲ公告スルコト

(1) 物件ノ種類、名稱、數量及該物件カ公賣セラレタルトキハ其ノ代金ノ數額

(2) 差押年月日、場所、被差押人ノ居所、氏名

(3) 受取方申出ノ場所及期間

三 前項ノ公告及受取方申出期間ハ三箇月以上タルコト但シ公告文ヲ新聞紙ニ掲載スル日數ハ適宜タルヘシ

四 第二項ノ公告ハ受領權利者ノ本籍又ハ最終ノ居所タル市町村ニ囑託シテ其ノ揭示場ニモ之ヲ爲サシムルコト但シ特ニ其ノ必要ヲ認メサルトキハ此ノ限ニ在ラス

五 物件ノ受取期間内ニ受取方申出ナキトキハ沒收物件ノ例ニ準シ處分スルヲ得ルコト但シ本處分ハ所有權ヲ拋棄シタルモノト確信シテ之ヲ爲スモノナレハ拋棄セサルコトヲ知ルヘキ特別ノ事情存スルトキハ此ノ限ニ在ラス

六 前項ノ處分ヲ爲サントスル場合ニ其ノ物件ノ價格十圓以上ナルカ又ハ該物件ヲ處分スル爲所有權拋棄者ノ損害十圓以上ト思料スル場合ハ處分上ニ關スル意見ヲ詳具シ本局ノ認可ヲ受クルコト

七 第五項ニ依リ物件ヲ處分シタル後ニ於テ萬一賠償ノ問題ヲ生スルコトナシトセサレハ一物件毎ニ評價ヲ爲シ置クコト

八 第五項ノ處分ハ事情止ムヲ得サル場合ニ爲スヘキ筈ナレハ第一項以下ノ手續ヲ盡シタルコトヲ證スヘキ記録ヲ存シ置クコト

刑法第五十四條ノ適用ニ關シ更ニ大正二年五月左ノ如ク收納部長ヨリ依命通牒シタリ

專賣局收納部長依命通牒甲第九七一號 (大正二年五月二十六日)

刑法第五十四條ノ解釋ニ關シテハ屢大審院ノ判例モ有之カ適用ニ當リテハ普通ニ用ヒラルヘキ手段若ハ其ノ犯罪ノ當然ノ結果ニシテ即チ手段ト結果トノ間ニ密接ナル因果關係アル場合ニ限ルヘキニ近時往々其ノ範圍ヲ擴張シテ適用スル尙モ有之例ヘハ鹽元賣捌人カ一回千斤未滿ヲ消費者ニ販賣シ(無指定販賣)其ノ罪跡ヲ蔽ハンカ爲ニ小賣人ニ販賣シタル如ク帳簿ノ詐記(帳簿詐記)ヲ爲シタル場合ノ如キ無指定販賣ト帳簿詐記トハ全ク別異ノ犯罪ヲ構成シ其ノ手段、結果ノ間ニ密接ナル因果關係ナキニ拘ハラス刑法第五十四條ヲ適用處分シタルカ如キ例ナキニアラス 如斯ハ手段結果ノ關係ヲ不當ニ擴張シタルモノナルニ付刑法第五十四條ノ適用ニ當リテハ慎重ニ考量シ苟モ密接ナル因果關係アル場合ニアラサレハ之ヲ適用セサル儀ト御了知相成度 右依命

外國ニ在留スル處分猶豫者ニ對スル訓戒方ニ付見付專賣支局長ヨリ照會アリタルニ對シ左ノ如ク

依命回答シタリ

見付專賣支局長照會事第九六五號 (大正二年十月十日)

米國在留帝國臣民ニ對スル犯罪事件ニシテ微罪ノ爲メ其ノ處分ヲ猶豫シタル場合ハ如何ナル方法ニ依リ訓戒方取扱可然哉在外國犯罪關係者取調並通信方法ニ關シテハ明治四十一年十月二十一日收納部長通牒甲第四〇七六號ノ外何等御通牒無之様被取扱上差掛リ疑義相生候ニ付何分ノ御回示相成度

專賣局支局長回答甲第一五三六號 (大正二年十月二十四日)

處分猶豫ノ訓戒ハ犯罪者ノ歸朝ヲ待テ之ヲ爲シ若シ猶豫決定ノ日ヨリ六箇月ヲ經過スルモ尙歸朝セサルトキハ其ノ儘不問ノ決定ヲ爲スコトニ取扱相成可然ト存候 依命